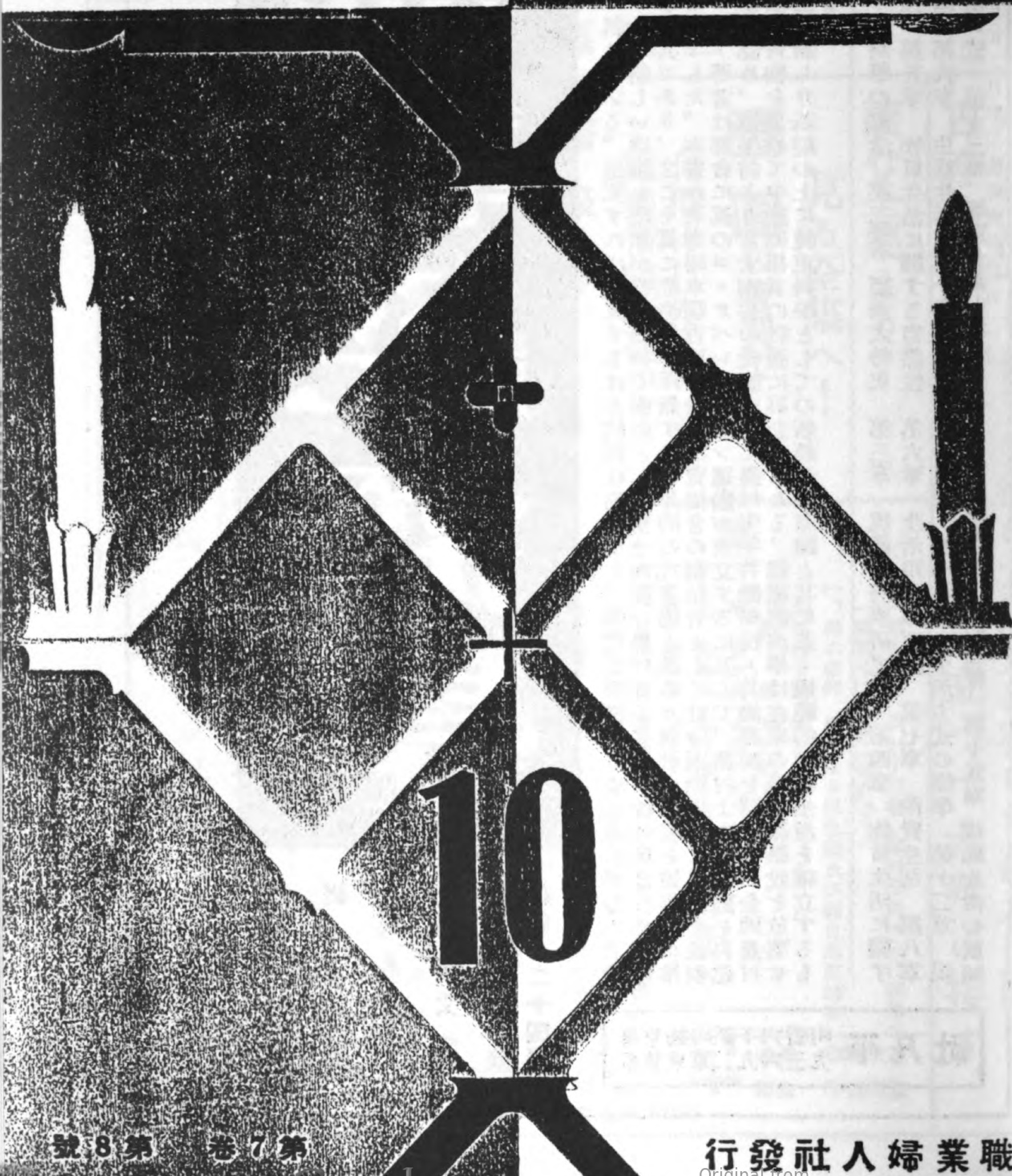
婦人運動

（毎月一回一日發行）

昭和四年九月二十八日印刷納本 昭和四年十月一日發行 第七卷第八號



10

第7卷 第8號

職業婦人社發行

岡本利吉著

規範經濟學

菊判九百頁
總クロース
箱入上製
背金文字
定價四圓八十錢
送料　二十四錢

經濟學原論の根本改訂

時代は飢えている。追究すれば追究するほど純眞は遠くなり、時代は理論と方法に渇してゐる。此時此際、全く新しい理論と理想が彗星の如く突如として富士南麓の農村青年共働學校に現はれた。規範經濟學が其であり、之こそ眞に經濟學を革新する世界的の大著述と認めた我社は本書を讀書界に推薦することゝした。本書の著者岡本利吉氏は我國消費組合の創始者として社會運動史上に重要な役割を受持つ人、著者は都會に眞のコ・オペレーション運動が成立するに及んで、農村より共運動を再建する必要を認め、數年前より富士南岳の愛鷹山中に農村青年共働學校と共働農園を開設し、全國農村より先驅的人物を集めて中堅開拓者の教養に專念してゐる。規範經濟學は在來の經濟諸學說を放棄せしめ、全く新しき基礎の上に純正科學としての新經濟學原論と共に基く規範的社會生活を確立するものである。

東京麴町區下六番町
振替東京二九三六九
平凡社

古今東西美術史に映ゆる名品五千點を集む

世界美術全集

第二回募集開始

本全集出でて世界美術の大殿堂は初めて萬人に開け
古今の大美術家は地上に立つて大衆に接す。

讀む全集より
見る全集へ！

壹圓の會費で
何時とはなしに家
庭美術館が建つ！

普及本
本緞略裝美本

裝飾本
本緞擬革裝背金
天金最上製函入

實物見本
全國各書店にあり

造本術の最高技術を動員して出版界類例なき廉價本
本書出でて美術書高價の觀念は消失さる。

豫約規定

一、頒布方法　全三十六卷　豫約會員のみに頒ち一部賣りは絕對にせず、
一、四六倍判　精巧なる原色版及び網目寫眞版等約百四十圖。解說約八十頁。
一、裝　幀　甲乙丙の三種
甲　普及本　本緞略裝美本
乙　裝飾本　本緞擬革裝背金天金上製函入
丙　特別裝　プレート帙入
一、申込金　甲壹圓　乙壹圓五拾錢　丙貳圓
申込金は最終の會費に充つる故、第一回會費は別に御拂込を乞ふ。一時拂は申込金を要せず。
（中途解約者には申込金返戻せず）
一、會費　甲壹圓　乙壹圓五拾錢　丙貳圓
一時拂　甲卅二圓乙四十八圓丙六十四圓。
一、送　料　每卷拾八錢（東京市内は六錢）
一、拂込方法　申込金及び第一回會費は豫約〆切前に、每卷會費はその發行十日前に振替御送金を乞ふ。
一、發行期　第一回配本、十一月十日。以下順次月一回以上發行、昭和四年末完結。

東京神田駿河臺下
株式會社　平凡社
電話神田　一六四六番　三六二八番　三四一九番
振替口座東京二九六三九番



目次

緊縮政策と婦人の要求

民政黨内閣は、在野時代に振り出した手形を決濟するために「金解禁」を急いで行はうとしてその準備として大がかりな緊縮政策に依らうとしてゐます。

金の輸出禁止を解くことそのことが、直接私たち一般無産者の生活にどういふ意義をもつか、といふことに就いては一言で簡單に說明することは六ケしいことですが――然し、金解禁の準備としてすでに手を着けられた緊縮政策は覿面、今日私たちの見る如き結果を齎らして不景氣は底知らずといふ鹽梅に深刻になり、失業者は巷に溢れて、物價は暴落の傾向をとつて來てをります。而も、安くなつた物資さへ買ふべき金子を人々は持たないといふ狀態で、これからさきどこ迄落ちこんでゆくのか解らぬこの困窮に、社會全體として堪えることが出來るのでせうか、甚だ不安であります。

政府の緊縮政策が一定の根據と方針をもつものでなくたゞ無定見、無標準極まる吝嗇政策に終始してゐることはこゝに改めて指摘するまでもないでありませう。

わが國の豫算全體の上からみればほんの僅かな社會政策費及び事實上の失業者救濟を意味してゐた諸多の事業費を削減した反面には、尨大なあの軍事費に一指だもふれてゐません。

徹底的な緊縮政策の宣傳にも拘らず減稅斷行の意志は全然なささうでありませんか。現行の稅制は、金持貧乏人の區別なく殆んど頭割に懸つて來る間接稅の消費稅が苛重であるに反して、富豪の負擔は未だ甚だ輕いのであります。財閥擁護の正體はこゝに遺憾なく發揮されてゐるといはねばなりませ

ん。

更に、企業家資本家の間に行はれる緊縮は、産業の合理化運動と相まつて一層失業群を増すばかりでありますが、そのために賃銀は低下して、結局全無産者の生活を犠牲にする緊縮政策だと云はねばなりません。政府はこれをしもやむを得ずとするのでせうか。然し、飢えたる民衆が果たしてこれを已むをえずとして甘受するでありませうか。

私たちはこの際、尠くとも次のことを要求するものであります。

失業問題を根底的に解決するために、失業保険制度、失業基金制度を實施せよ。

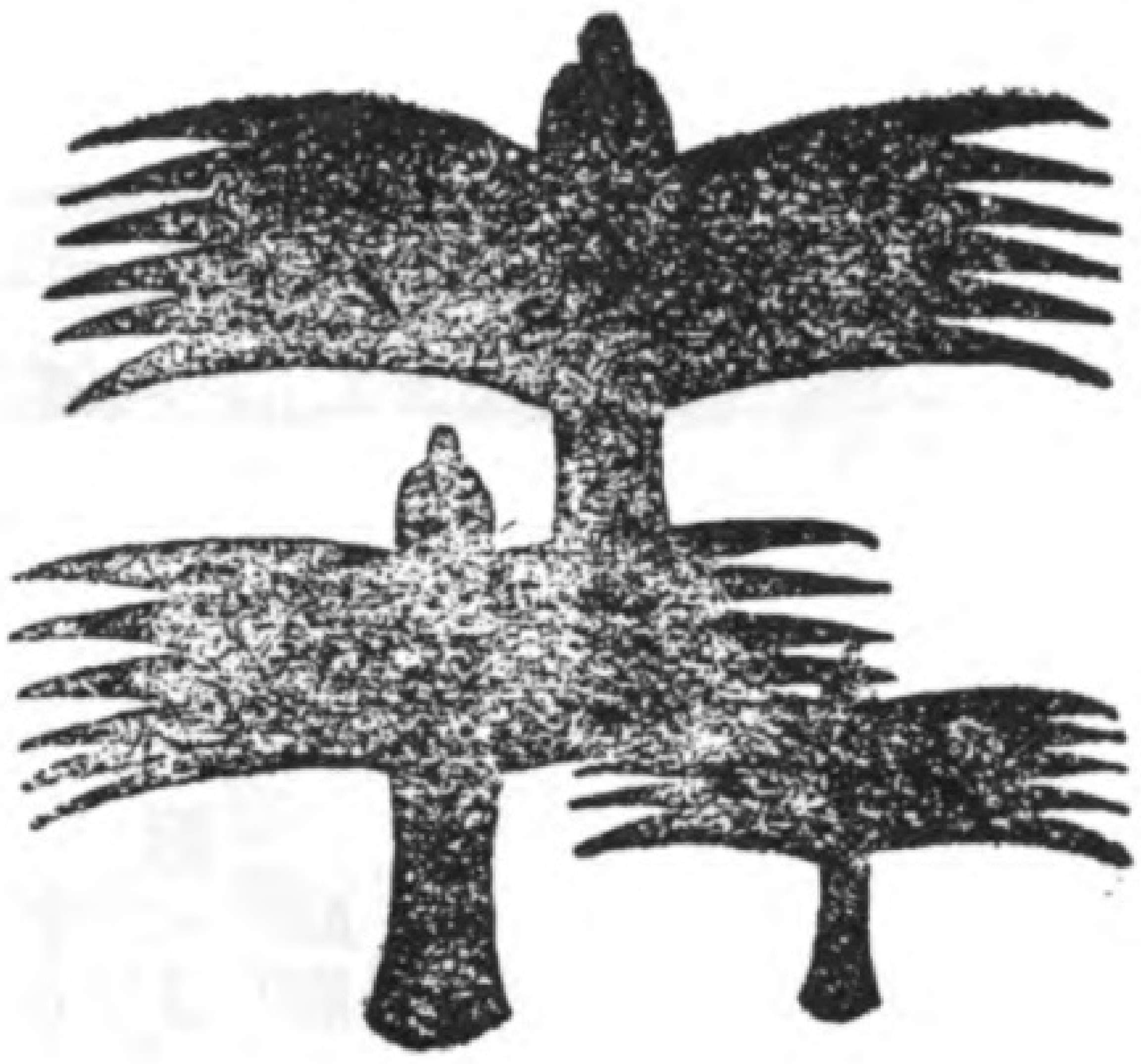
母親及び兒童幼兒保護を徹底せしめよ。

今日國家財政を破産に導かうとしてゐる軍事費を徹底的に削減せよ。

緊縮政策に依つて浮び上つた剰餘金を公債償還にあてるところの財閥擁護政策絶對反對。失業者及び一般無産者の生活權確立、社會的福利施設の完備へこれをあてよ。

税制を根本的に整理して富豪には重税を。そして無産大衆を搾取する諸惡税――中でも消費税を徹廢せよ。

政府の不徹底極まる緊縮政策に反對せよ！（奥）



失業問題と其對策

廣瀬庫太郎

失業問題の重要性

失業――失業問題が、今日ほど差迫つた眞劍な問題として叫ばれたことはないでせう。政府の役人も、大小の實業家も勞働者、知識階級は申すに及ばず、凡そ何等かの意味で社會の動きに關心を有つてゐるものは、今日何人も此の問題を極めて重大な問題として考へなければならなくなりました。

毎年々々惡くなる一方で少しも回復しない不景氣と、それに伴つて増大して來る就職難、解雇、工場閉鎖等により、過去數年來、失業者の増加は夥しいものであります。若し精密な統計があつて之を具體的な數字で示しますならば、今日全國の失業者は、けだし何人も驚愕なしには見られぬ程の多數に上つてゐると思ひます。しかるに時も時、金解禁と緊縮政策とを一枚看板に民政黨内閣が登場したのであります。金解禁が夥しい失業者を生むことは世界的に證明されてゐる所であり、旁々緊縮の大鉈は單に官公業の上に振廻されてゐる許りでなく、澤山の資本家を動員して未曾有の首斬り時代を喚起すかに見えてゐます。失業問題が國民的提案として論議され、此の内容、對策等に就いて囂々の聲あるは、けだし時代の必然と言はなければならないでせう。

失業者はどれだけあるか？

失業者は今日どれだけの數に達してゐるか。はつきりしたことは誰にも分つてをりません。嘗つて大正十四年十月（と記憶してゐますが）國勢調査と一所に全國の失業者調査を行つたことがあります。當時は護憲三派による若槻内閣が消極政策を標榜し、財政行政の整理を行ひ、金解禁を目標に進んだ時なので失業者は相當に增加し、其の調査の結果がどうなるだらうかは、凡ゆる人々の相當興味を持つて期待したところでした。しかるに愈々發表されました私共はその數字の餘りに小さいのに驚きました。確か十數何千かゞその數字であつたと思ひます。これが發表されたとき、日本にはまだ差迫つた失業問題は存在しない。極めて少しの勞働者が、東京、大阪等に少しばかりの期間を遊んでゐるに過ぎないと樂觀した人もあつたでせう。しかし少しでも眞摯に社會事象を見やうとする人にとつては、全く意外なしかも滑稽な結果に、たゞとめどなき微苦笑を禁じ得なかつたばかりでした。

失業者と云ふのは、前に何か仕事を持つてゐた人、現に何もやつてゐない人、それも大方世帶主のみ、といふやうな窮屈な觀察眼が萬年失業者や、未就職者、内職してゐる失業者次男三女等の失業等を統計に上せなかつた結果、偶々十萬何千かの數字を生んだとは當時誰でもの口から出た定說であつて此の統計は一たまりもなく輿論の審判に膝を屈したのでした。そのためか「抑々我が國の失業者十萬人」などゝ見榮を切る不心得な政治家は出さずにすみました。が權威ある失業者統計は遂に今日まで得なかつたのであります。

今年八月政府は、全國の職業紹介所や警察に通牒して、下級知識階級、勞働者、自由勞働者の調査申告をなさしめた。その結果はまだ發表されませんが十數萬とは云はれてゐます。職業紹介所が失業者調査に適不適は暫く別として、警察官の調査が「一定の職業なき」ものに對する警察犯取締のためと誤解され誤つた申告を累積させたやうな結果はなかつたらうか、眞に正鵠なる調査を行はうとすれば他に幾らでも方法がある。かゝる姑息的な手段で正確な精密な數字を得やうとすることは全く誤りです。また一面さうした數字を有たないことは斯かる問題を取扱ふものゝ全く遺憾此上もない所であります。

失業者は益々增加する

現在のまゝでも失業者數は、決して些少なものではありま

せん。それに加へて金解禁といふ難關が將來に控へてゐます。これは失業問題の上にどんな現象を喚起して行くでせうか。

いろ／＼の點から推測しまして、平價による金解禁は、日本の現狀には甚だ不適合のものであります。不適合を豫期してやるのだから其處に澤山の失業者の出來ることは當然と言はなければなりません。

金解禁に必要な條件としての貿易の好轉、國家財政の縮少國際貸借の改善、通貨の收縮、物價の引下げと云つたやうな準備は何れも極めて不充分であり平價解禁を肯定させる材料にはなりません、强ひて云へば爲替相場の昂騰ですが、これだけを信頼して解禁をやつたイギリス保守黨の失敗は私共によき教訓を遺しました。しかし、いけなからうが、どうだらうか結局やると云ふ。やる以上は其の結果も必然やつて來る。それはイギリス等の經驗に依れば夥しい失業者の續出、工業特に炭業の非常なる不振と賃銀の低下等となつて表はれ、その避けられない結果として炭坑罷業、總同盟罷業等となつて表はれたのであります。これが炭坑主の勝利に終つたことは英國勞働運動に誠に悲しむべき創痍を負はしめたものですが一面また英帝國沒落の一里塚を築いたことも否定し得られないところであります。

日本でも恐らく同じやうな經驗をすることでせう。物價は急激に下落し、國內市場を目當とする一切の工業の停止、對支貿易の不振と紡織業の衰頽等を初めとして不景氣がそれからそれへと波及する。また緊縮政策を口實にして斬捨御免式産業合理化が遠慮會釋なしに處はれる。今年末以後の失業者がどれ程の數字になるかは全く誰でもが逆睹し得ないところであります。

失業問題の對策

失業問題の據つて來る所を考へて其の對策をどうしようでなく、假に常識的に眼先きの對策を考へるならば、私共はそこに二つの道の開けてゐることを發見します。一は失業者のために救濟事業を興すこと。二は相互扶助的、共濟的施設を講ずるにとです。

第一の方法は現に濱口內閣に依つてとられやうとしてゐる即ち地方團體の事業にして其の事業費の三分一以上が勞働賃銀として支拂はれるものに限り政府は之に起債することを許

し其の勞賃の半額を國庫支辨とするといふ法律の制定であります。案の詳しい內容は分りませんが要するに國家の失費を以て失業問題を解決しようとするものであります。

さうした結果、失業勞働者がどれだけ仕事にありつくかは豫測し得ないことですが、これだけのことは豫め斷定出來ると思はれます。地方團體が事業を企て起債するに當つてはその大部分が少數財閥乃至金融業者のために遊資を利用してやるといふ事態に終ること。勞働賃銀三分一の規定が、地方當事者によつて改竄さるゝ虞のあること。其他不正買收等の事實が事毎に伴ふだらうこと等でつまり實質に於いては金融業者や地方事業家のために、國庫負擔といふプレミアムをつけて事業を計畫するやうな結果になります。其の上此案は元來緊縮で頗る不人氣な現內閣が、緊縮の裏道を攀ぢ上らうとするもので一の總選擧對策とも見らるべきものであります。また之に對しての國家の負擔ですがこれも非常な額に上るとすれば、矢張り租稅收入に依らなければなりません、しかも消費稅や關稅でその負擔を民衆の上に持つて來るならば、寧ろない方がましです、私共はこれが財源としては、どうしても財產稅乃至相續稅の加重を正當なものと考へます。

第二の方法は互助的な失業保險制度の確立であります。國家と雇主と被傭者との三者がその費用を負擔する失業保險組合を作ること、は全く今日の急務であります。最近東京市では此の保險制を布かうとしてゐるやうですが案の內容は主に自由勞働者のための施設であるに止まつて、一般失業者のためには、二階から目藥の歎なきを得ないのであります。しかし私共はその實現がなるべく急速なるを望みたい。何となれば失業保險とはこんな容易な、こんな合理的方法なのかといふ安心が一般施政者をして新らしき進步した保險制への興味を促すだけでも重要だと思ふから。其れに要する財政的負擔の如きは今日政府の救濟事業法の失費等から比べるならば、實に輕易なものであることは玆に詳しくは申上げません。

其の他失業基金制度、紹介制度の改革、幼少年保護等失業問題と絡んだ施設は甚だ多いのですが此にはそれを略します。たゞ私共は失業問題が社會聯帶の問題であり之が解決は總ての人々の協同の義務だといふやうになつたことを一大進步だと思つて衷心喜んでゐる次第です。

× × × × × ×



哈爾賓を語る

栗栖蔦子

カラハンの腰の强さに跳ね返された滿洲里の電報が飛んで來た、ハルピンの街に、ボツ／＼事件が起きて來た。

騒ぐは新聞だけさ、殊に日本の新聞だけさ。と落つき切つた街の人も、市内の目拔の場所の電話線がプッツリ切られて五百の電話が不通と成り、五日經つても一週間經つても修理をしない。しない所かフフンと笑つて居るげなつて、それでは今度こそいよ／＼ほんものに成るか、と又そろ市民は手に汗を握り始めた。そら、支那街のあの大きな火事を見よ。

燃える／＼。午前三時の空は眞紅だ。あまり大きい火の柱で、消防ポンプも茫んやりしたなら勿論巡警も茫んやりした。火は燃へ盛る。あまり大きな火事で、火事の作業は振はない。六時間燃えてやつと納まつた。××製粉會社全燒。五十萬元の損失と新聞は報じて火事は片付いたが、街の話は片付かなかつた。

××の火事は××の放火らしい。

××の行動が甚た計劃的に成つて來た。もし××の手がハルピンに廣がるとしたら。

帝政の世の將軍士卒が甚だ色を失つた。寄ると觸るとひそ／＼話が始まつて、只さへ物憂ひ八月半ばの秋空に、此の人達ちの生活は何處に行く。

第三國人の日本人に聞こうものなら、記憶のいい人は言ふ。尼港、濟南の例がある。××も××もいづれを指しても危險性が充分にある。滿洲里の交渉が不可能であつたとすると、赤露の目的はハルピンにあるから、此處は突發的にどんな事

件が起るかも知れない。

とおどかされては、道行く人のどれもこれもが目付が悪るそうに見えて、婦人は外出がいやに成る。折角暑中休暇で歸つて來た子供達が、兩親の膝で甘へるどころか大人の恐怖話にすつかり引き入れられて、戰爭とは、掠奪とは、人殺しとは、等々考へ且つ空想し始めて休暇中を滅茶々々にしてしまつた。五つ位の子供までが、逃げる時はお馬を持つて逃げる。いやお人形を抱いてこうして逃げる。と身振り手眞似のあわれお可笑さ。

十四の娘の話すことに。

「夕べ皆んなの話を聞いて居つたら、今にも表口から裏口から、××が來そうで恐ろしくて／＼て仕方がなかつた。もしか來たらどこへ隱れようかと考へ／＼眠つたら、一夜中夢ばつかり見て怖かつただが今朝起きて見るとお日樣が一パイ照つて居て何んともなく成つてしまつた。夜はつく／＼いやだと思ふ。こんなにいいお天氣だもの、松花江に遊びに行つたとて大夫だわ。」

その松花江にも人が死ぬ。今年は何から何迄緣起が惡るい。と一人の男が悲壯な顏をすれば、なしに松花江では毎年十人位は死ぬ事に成つて居る。何も今年だけじやあないさ。どんな事があつたとて、國籍が日本の吾々じあないか。くだらぬ事を氣にするものじやあ無い事件が起きたとて最後迄踏み止まつて、日本男子の氣を吐くのも面白いじやあないか。一寸戰爭の眞似でもして見れたらと思ふて居るが、一向駄目らしい。

だつて戰爭なんかない方がいい。支那人も露西亞人も、江戸ツ子氣前が無いだけ私達は仕合せをする。他人の土に住む者の多少の遠慮は必要だと思ふのに、戰爭の氣分は誰が作るか。無智な者に刄を拔かせる愚を敎へては、とうとう筆のまげ方に困るじやないか。

女もまじる秋の夜ばなし。誰もが幾分は氣に成る秋の夜ばなし。東支鐵道事件の中心地．ハルピンの秋はなか／＼多事である。

…………………………

今や支那は兎にも角にも南京政府の成立で一人前の口がきたう成つた時である。蔣介石氏は甚だ合理的な智惠者である。北滿の利權回收は當然支那の取る可き手段であると主張した。

從來支那は詭辯を弄することに成功して居る。今度の露支の大喧嘩にして見ても、少し遡つて考へ起し、そうして今日に及んで來ると甚だ面白い結論に成る。支那が、露支協定はどうあろうとも松花江の航行利權は支那のものだと駄々をこね出した。誠に御都合主義の様に思へても、松花江は純然たる支那の土地を流れて居る。居るが故に彼はかく主張して、結果に於て成功をした。續いて、鐵道の守備權、沿線の警察權、司法權及び通信權、勿論支那のものでなくてはならぬと言ひ出した。是も主權者は支那だからとの理屈で取り戻した。

　こうなれば奉露協定など何んでもない。要するに主權一點張りの支那である。更に合理的であらねばならぬと矢つぎ早に市政權の回收に着手した。東支鐵道は純然たる商業機關である以上、何等政治的權能を有せず。とやり込められて、抗議すべき何等の實力を持たぬ勞農側は、默つて放棄した。

　あだかもよしと見て取つた支那側は、散々輕蔑をしてかかつた。東省特別區に於ける地方行政が支那官憲の管理に歸せらる可きである以上、此の行政權の範圍にある教育權も亦當然支那側に回收すべきものである。

と次は、教育權の回收に目をつけた。そして、但し教育資金は東支鐵道負擔のこと。と付け加へた。

　讓歩に讓歩を重ねて來た勞農側も、さすがに此の理屈に合はぬ暴言に對しては極力反對をした。然しどこ迄も調子に乘り切つて居る支那は武力に訴へてもの意氣を示して、ついに東支鐵道學務課を閉鎖してしまつた。見事に利權の回收に成功した支那の鼻息は益々荒く成るばつかりである。排日の合の手までも入れてかかる。

　南京政府に納まつて、太平の平餅を喰ひかけて居る蔣介石氏に張學良がこそ〳〵呼び寄せられ何やら御馳走に成つて居るげな。の世の噂に先だつて、ハルピン勞農領事館の手入れ事件が突發した。赤化防止と甚だ列國に體裁のいい言い譯ではあるが、ついでの事だ、東支鐵道も取つてしまへ！　の下心である位いは一人前の人間なれば誰でもわかることである。

　勞農側の銀行ダリバンクにまで難癖つけて掻き散らし、何んでもかんでも「共産黨赤化運動云々」に押つけ、鐵道管理局長始め重だつた勞農側の重役を馘首した事はそれから間のない事である。如何に「盲ら蛇に怖氣ず」の格言はあるにし

ても、此の支那のやり方には常識の人をしてアッと驚かした。

かくしてハルピンの街に東支事件のセンセイションを捲き起した。支那と露西亜は、あざやかに喧嘩の幕を切つて下した。それでも最後の最後まで堪へ様とした否堪らへた勞農側は胸を擦つて支那側に最後の通牒を送つたがあくまで逆せ上つて居る支那側は誠意なく最後迄小馬鹿にして喰つて居つた。俄然、勞農領事館は引上げを聲明して、露支國交斷絕を宣言した。

赤衛軍はポプラニチナヤさして進み、支那兵も滿洲里に露營の天幕を張つた。第三國人の日本新聞記者が周章し始めた。赤衛軍の飛行機は飛び、滿洲里は戰禍の中心地と成り又ハルピン暴動の巷と化そうとの報導は時を移さず廣がつて、此處に第一回新聞紙上戰は開始された事に成る。

戰爭雰圍氣が醸されて日本新聞記者が右往左往飛び廻り始めると、急にうろたへたのが支那側、何の爲にうろたへるのが了解に苦しむけれど、勞農領事を監禁して見たり。子供だましの様な兵隊を仕立て見たり。から駄目である。勞農領事また長春に張作相を訪ねて見たりうろ〳〵した日暮しが續いて舞臺が甚だ間か拔け切つて居る。未練氣の多い露支國交斷絕か――外交斷絕のつもりか――に地段駄踏むのが第三國人である。あまり力瘤が入り過ぎるのもよしあし他人の事は見當違いが多い。流石に支那も露西亜も喧嘩をして居るといふ事を明らかにする爲に、お互は戰時武裝をして兩國境に陣取つて居ることは、當時も今も變りはない。

ハルピンの街にも戰時武裝した示威運動の行列が通る。そこは拔け目のない、アメリカ人、御機嫌取りが上手で早速その行列を活動のフイルムに寫して居るなど、さこそ笑止と見るより外ない退屈さである。案に相違のロシヤの態度に、列國の傍觀に、換算違ひをした支那が、しきりに氣を揉み出した昨今、カラハンなか〳〵腰も强う成れば話しも先手が打てる。とう〳〵第一回滿洲里交渉は支那が跳ね返された。

然し周章るには及ぶまい。ロシヤと支那の話しなら役者がどちらも道化切つて居る旗まで同じやあないか。と皮肉つて見たところでなか〳〵割り切れない人達だけに、グラ〳〵動くハルピンの街は不景色て淋しい。

…………………………

東支事件を中心にして支那の行動に筆を染めるなら今日の

支那と、解放的に在る今日の婦人と甚だ類似の點のあることを思はせられる。

　ながい間國亂れて統一のない支那は、列強の領土的慾望の的に成つて虐げられて來た。現に露西亞の如き、遡れば全滿洲を己が手の中に握らんとして支那を侵し、危くも東洋の權威をすら侵さんとした大きな事實に對しても支那は爲すにまかせたのではないか。舊國家的掠奪主義を脱しきらない時代によつての支那は、微力爲す所を知らぬ諸國の投資を甘んじて受けた。所謂七去三從の封建制度の女性であつた。

　自由主義的經濟の發達につれて支那にも革命が起きた。或は共産革命となり或は國民黨命と成つて、今日の南京政府が出來上つた。其の長い變遷に依る苦い經驗は支那自體がつぶさに嘗めて、やうやく東洋の近代的國家心理に自覺して來たのであるであるが故に自由を欲し不合理が目につくのである。更に現代の女性に例を取つて考察するなれば支那の自覺も、現代女性の自覺もさながら同じ軌道を走る觀がある、思まる處を知らない自我の主張に夢中である。そこに何ものも無い。只長い間、痛め縮められ虐げられて來た反動的の強さがあるばかりである。

　解放を叫び不合理を説く現代女性の取る數々の行動に、戀愛の逸樂がある。三角關階天下御免の家庭悲劇がある。いづれも自由なる個人制から見れば當然の個人行動にしても、社會の大觀は潔よしとしない恨みがある。

　支那にしても一朝にして利權の回收は當然の理はあるにもせよ、果してどれだけ内容の自信を持つ事が出來るか。甘い亭主を見くびる女房の如く、根末いづれにあるにもせよ弱腰の勞勞に抗し暴行的の主權の主張はちと聰明を缺く事になる。最後は他人の包介に或る樣な見苦しい結果を見る位いなら始めから起さないに限るといふ理屈に成る。支那の主張、婦人の言ひ分、いづれも最も至極の道理ではあるが、いづれもそこに捨身の眞險さが無い。と同時に内容の乏しい恨みがある。（一九二九、八、一五）



軍縮會議の内容と帝國主義

國の諸樹立

勞働黨内閣の首相マクドナルド氏の合衆國訪問に依つて具體化されやうとしてゐる海軍縮小會議は、其の宣傳の大がゝりなのと、登場人物が多少の新らし味に富めることに依つて、近來の國際問題中一種異常な反響を喚起してゐる。此の會議がどんな内容を以つてどう進行するかは啻に世界的な興味の中心問題であるばかりでなく、國民生活の現在將來にとつて何人も關心なしに過されない事實である。

未だ開かれない會議を、しかも不充分な材料で豫測し豫定しようとすることはきはめて困難なことである。殊に其の根幹をなす英米豫備交渉も其の内容は未だ祕密にせられてをり、マクドナルド――ドウズ商議の内容も未だ詳しく發表されるに到つてゐない。それで我々は表面に表はれた材料を繼ぎ合せることに依つて軍縮問題の内容を卜することは出來ないが、今日表面の事實を、其根抵となつてゐる各資本主義國の現勢帝國主義的對立の諸關係と交錯し對照して考へるならば、また以て軍縮問題の眞の内容を想見することが出來るであらうと信ずる。

◇

大英帝國主義國の、現下國際關係の下に於ける强味は、太陽の沒することなきその廣汎なる領土――植民地の領有である。其の植民地の忠誠は、イギリス資本主義の一層の發展を保障するばかりでなく、軍事的な見地から見て、强大なる大艦隊と其の航海根據地を與へ、海洋の獨占化を可能ならしめてゐる。

しかしながらイギリス海軍の優越的地位は諸多の動搖なしに經過することは困難であつた。ワシントン會議を轉機としてイギリスの海軍は「二强國標準主義」を「一强國標準主義」と置き換えざるを得なかつた。即ち合衆國の際限なき財力を背景として挑まれたる造艦競爭に應ずることが出來ず、心なくも合衆國と對等の位置に成下るより道がなかつたのであ

る。イギリスが賠償問題に苦しみ爲替相場の不安に怯えて合衆國の恫喝に屈服せざるを得なかつたのは、さながら今日の日本を髣髴せしむるものがある。

◇

合衆國の經濟的優勢と其の帝國主義的興隆とを、世界の支配的位置までに昂揚するためには、植民運動に於けるイギリスの政治的優越を打毀す必要がある。合衆國は從來平和的扮裝を以て世界の何處に於いても機會均等、門戶開放を叫んで來たのであるが、斯かる主張に依つてイギリスの植民地に對する政治的支配を骨拔きにすることが困難であるばかりでなく、必死的なイギリスの對屬領政策に對して單なる經濟的、外交的方策は合衆國をして何等重要なる地步を獲得せしめなかつた。加之イギリス海軍はワシントン會議に依り共巨大艦は制限されたと云へ、巡洋艦以下の縮少は保留されしかも小艦船の建造は整備されたる海軍根據地網と相須つてイギリスの制海權を少しも破壞するところなく寧ろ進步した戰術は益々イギリス海軍の戰鬪力を裏書きするかの觀がある。

◇

英米對立の狀態が時に險惡化し、時に袋路に佇ましめながらも尙其事情を緩解し、或は旋回せしめ、また平坦なる兩國の間に時ならぬ暗礁をもたらすものはフランスの外交的位置である。フランスは其の武裝的壓迫によつてドイツを牽制し其の重工業を自己の手に奪取することに依つて一面イギリス工業を西歐から驅逐しヨーロッパ大陸に於ける隱然たる覇王の態度を以て莅んでゐる。イギリス政府の政策は之に對してドイツを側面から擁護し、賠償問題に於いて、ルール占領問題に於いて、常に陰になり日向になつて對佛反抗を煽つて來たが、今日まで其政策的効果はさほど現れるところなく却つて自己の位置を低落せしめつゝあるやうに觀察せられてゐる。

此等の諸關係は、種々に複合されて時に英佛の接近となり、或は英米の對立となり、或はドイツをしてイギリスに背かしめ、或はフランスをして合衆國と爭はしむる等々、極めて複雜なる樣相を示してゐるが、その國際的合從連衡が最後的形態をとるに到つたならば戰火が何時でも開かれるだらうことを否定し得ないのは勿論である。

◇

此等の狀態の下に開かれやうとする軍縮會議が、果してど

んな結末を得るだらうかは想像に難くない。今日まで逐次發表された其内容は依然として上記の條件の制約を受けてゐる極めて不滿足なるもののみである。今日頻りに論議されてゐる英米の噸數協定の如きも現に發表されてゐる數字は寧ろ海軍の擴張であつて少しも縮少の内容は持つてゐないこと、殊に日本に於いては其の十十ノ七の比率にせよ十十ノ六のそれにせよ結果に於いては甚しき軍備擴張となる虞を有つが如き一面甚だ滑稽な現象であるとともに、また軍備縮少が、今日ブルジョア政治家にとつて如何に絶望的な不可能事であるかを痛感せしめるのみである。

イギリスは、譬ひ勞働黨政策によつて動かされてゐやうとも、現状のまゝに於いて軍備縮少に手を染めやうとすることは、甚だ本末を誤まつてゐるものである。イギリス海軍こそは、其屬領地を本國と結び、直接政治的に統制し全經濟を本國に歸屬せしめてゐるものである。此の大海軍こそはイギリス帝國主義にとつて血管の働きをなすものである。從つて問題は如何に帝國主義政策を廢棄するかにあつて軍備は之に附隨した問題である。現状のまゝの軍縮は結局、戰爭の技術的條件の限界——例へば百人の歩兵より機關銃を有つた十人の兵士、數萬トンの大艦を造る代りに高度の攻擊力を有つ潜水艦何隻と云つた程度——に止まる。

◇

しからばさうした内容の甚だ貧弱な軍縮會議を此際何故取急いで開かうとするか。

其の第一の理由は、私の見解を以てすれば、甚だ頭かなる形に於いてゞはあるが、英米對立を中軸とする世界の二大系列への分割、即ちイギリス、フランス、日本の聯繫と合衆國ドイツ、支那の陰然たる結合である。此等の對立は究極的對立に變化するまでは相當變遷あるを免れないであらうが、英米による世界覇權の爭奪を中心問題として、世界の各地にそれ〳〵の對立、抗爭を畫きつゝあるは事實である。

◇

しかも此等の對立は、英米の直接關係に於いては、其政治的に既得領域を守らうとするイギリスと門戶開放主義を振翳し其の強大なる財力を以て經濟的に之を侵蝕しようとする合衆國、謂はゞイギリスの屬領支配を一つの擬制的存在に墮さうとする爭となつて展開される。イギリス勞働黨の執權が必然此等の問題に再考察を與へざるを得なくなり、マグドナル

ドが第一線に立つて問題の提出者となつたのももと此等の事情の存在によるものである。

合衆國に於いてはワシントン會議の內容を一層徹底させること、換言すれば小型艦、巡洋艦等に於いてもイギリスの造艦を抑制し英米均等の原則を一層適確に勵行せしむるを欲してゐる。從つて對英商議がどんな內容を有つにせよ、從來の位置を低下せしむべき何等の危險もそこに、存在することを發見し得ない。其豫備交涉のすら〲と運ばれたのも亦實に此等の條件によるものである。

◇

合衆國及びイギリスは、支那に於ける日本の帝國主義政策に對して之を政治的に牽制しなければならぬことを互に意識してゐる。英米の南京政府に對する接近と之を廣大なる自國帝國主義の體系に包攝する努力が成功するに伴つて日本牽制は急速に必要なる事實となつて現はれた。

かつてワシントン會議は、日本より奪ふに對支二十一ヶ條をもつてした。新軍縮會議は、抑日本より何を奪はうとするか。會議はまさに英米にとつて——英米對立は對日本政策に於いては多少變則的ならざるを得ないが——日本の蟹の鋏を斷つてしかして後に肉を削るが如き政策に終るであらう。

軍縮會議は經濟的勢力の政治的支配力に對して、之を抑制せんとする意味を强度に有つものであつて經濟力の低く、政治的軍事的國外發展を賴みとするものゝ甚しき傷手に終ることは誰人も否定し得ないところである。新軍縮會議は此意味に於いて、日本の政治家及び民衆に偉大なる敎訓を投げてゐると思はれる。

蔣介石は沒落するか

支那に於て、今反蔣運動は新聞紙等の報道によれば、國民黨の左派から極右翼西山派までの橫斷的結合であつて馮玉祥、閻錫山、張學良等の軍閥も加つて、此の驕れるナポレオンを放逐せんとするものであり、共產黨員が其第一線に立つて直接の抗爭に從つてゐるとされてゐる。蔣介石軍にとつて極めて打擊を感ずるであらう南京火藥庫の爆發も浦口武器倉庫の燒失も、或は蔣の遭難說も皆此の反蔣派の運動とされてゐる。

しかしながら蔣介石の位置は決して簡單に動搖するもので

はない。彼の强味は單に二十幾萬の軍隊でもなく、豐富なる軍需品でもなく、浙江財閥の支援に依るものでもない。勿論それらは蔣介石の今日の位置を保障してゐるものではあるが、危急に際して尙彼の位置を安泰ならしめるものは實に英米帝國主義の庇護其物である。それは啻に海岸線、長江沿岸から武力的に彼を守つてくれる許りでなく一面經濟的に之を庇護する。勿論それは蔣介石權力の强化を來さゞる程度に於いてゞはあるが、今日の南京政府對英米の接近せる狀態に於いては、南京政府を以て東方政策の樞軸となし其の資本侵略の支鬪番となすことは極めて聰明なる政策であるばかりでなく又現實に具體化されてゐる事實でもあるからである。

それに對比すれば、他の軍閥乃至政治家が如何に、外國帝國主義と離隔されてゐるかは一目瞭然である。武器庫が假令燒失しても火藥が如何に爆發しても、それを補塡することは極めて容易である。浙江財閥が南京政府を護るか否かも問題の終局的なる解答ではない。かく見來るならば蔣介石の政權は、先づ一應安定しをるものと觀察するに何等反對の資料は擧げられてゐないのである。

――二三頁よりつゞく

實であるから、たとえ局部的な見解のもとにあつてではあるとしても、とにかく東京市が他に卒先して、この問題の具體的解決に指を染めやうと企てるに至つたことは、一つの悅ばしい現象だと云はねばならない。

この場合、婦人として特に感じさせられることは、これまで道德上でも法律上でも公けには禁止されてゐるかの如く一般に考へられてゐた問題、(この場合は產兒調節問題)が實際の必要の前にどん／＼改められて公けの施設として社會も國家もこれを認めなければならなくなつてゆく――といふ生きたこの事實である。この一事だけでも大きな收獲だと云はねばならぬ。(奥むめお)

時評

國定教科書値下げ問題

國家は國民にその子弟が満六才に達すれば必ず就學せしむべき教育の義務を負はせてゐる。

義務教育である以上凡ての教育費——學校經營費、教科書、學用品等々——は當然國家が支給して然るべきである。(勿論一部分はすでに國家が負擔してゐるが)然し、教科書、學用品、被服、食事等は依然として父兄の分擔である。然し此全部を性急に國庫が支辨するといふ事は事實上不可能として暫くの時を待つとしても、教科書、學用品等位は、實費供給をする様方法を講ずる位の誠意は當然の義務である。子供の可愛さから、よろこんで果さうとして、その貧しい財布——豆を賣つたり、米櫃の白米を持ち出したりして工面した——をはたいて父兄は教科書を買ふ。その血涙のにじんだその金が、一部資本家の懐の肥しになつてゐると知つては、誰か怒りを感ぜずにゐられ様。

現在の國定教科書は、文部省が之を編纂し、その飜刻發行は日本、東京、大阪の三飜刻會社の獨占であり、更にその下に各府縣の共同販賣所があつて、全國的配給を司つてゐる。

文部省は之によつて、一年平均約三十二萬圓の收入を得——何とゆはれのない得手勝手不合理な收入である事よ——そして民間のそれ等會社は、三百萬圓の暴利をむさぼつてゐる。

それが間違でない事實である事を數學を上げて說明しやう。

教科書は低學年と高學年とでその定價は違ふが平均一圓と見なし、就學兒童約八百萬人悉く買ふとすれば約八百萬圓。兄姉ので二代使ふのもゐるから、ざつと六七百萬圓購賣するものと見積つてよからう。それに對する利得が次のやうなのである。

共同販賣	一割四分
特約販賣所	五分

取次販賣所　　一割二分

此總計が三割二分、之に飜刻會社は、その每年の配當一割二分から推算する時は、一割四分の利得は得てゐる。計四割六分、更に政府に納めてゐる四分で正に五割となるのである。子供達の敎科書の正味の値段は、實に半額にしか當らないのである。

飜刻發行配供といつた所で、外の出版業と違つて、原稿は文部省で作つてくれる。高い新聞廣告をすることも賣殘りを豫想する心配もいらない。每年受持の先生がその組の子供達の購賣高、新本何冊、古本何冊と豫め正確な數を調べさせられてゐる――あれは、上司の命令として面倒な調べ書を出してゐるが、實際は、本屋の手先に使はれてゐるのだ――全く一冊の餘分さへ作る必要はないのである。

飜刻會社は他の如何なる會社の事業よりも確實な、國家の保護の元に決して損をすることのない此商賣で、どうにもならないほどの利益を上げてゐるが、いくら利益が入つても、配當は一割二歩以上とするわけに行かぬ。そこで考へついたのが配當の二重取り、無用の長物、否無用有害なる販賣機關の設立である。そして、飜刻會社と共同販賣所とは、その大株主が共通で、關係者以外どこへも持株を出さぬことになつてゐるなどと知るならば、利益の二重取りを企んでゐる彼らの奸策を見破ることが出來るであらう。それから上る利益が腐るほどだといふ事は、この飜刻、販賣の兩會社が最高の配當をしても猶處置にこまる暗い金で、每年北海道だ滿鮮だと大株主の大名旅行をやつてゐるのでも覗えるのである。

不審なのは文部省の態度である。敎科書一冊につき四厘宛、會社から國庫へ納入させる三十二萬圓は敎科書の一冊宛に――之を購入する親達の頭へ轉嫁されてゐるのであること勿論である。義務を負はされた上に、此血稅、可愛い子を持つ親こそいゝ面の皮である。

今年は丁度契約期限が滿期となつたので、諸方面から運動が起つてゐるが、中には、此特權を橫取りしやうといふ眉つばものもある。少しばかり安いといふので、又第二の特權會社を作らせるのは私共の本意でない。その利益が三百萬圓で

あらうと、只の一萬圓であらうと、不當である事に代りはないのだから。

事業の性質上、不當な利益を此から上げることを禁止し、國家なり社會なりの制裁を以て、これを保護する事はぜひ必要である。(平田)

派出婦會のカラクリと
自治的派出婦會の提唱

最近、警視廳は市郡を通じ約二百五十の派出婦會の内容を一齊に調査したところ――一部の不良派出婦會長が、不景氣の結果、正當な方法では儲からぬので、無暗に會員の増加を計り、その入會金と(普通一圓内外)、會費(一ケ月一圓程)を多數の入會者から搾り取る奸手段に出てゐる事をつきとめた。馬鹿を見るのは入會者で、折角働かして貰うと思つてなけなしの財布をはたいて一圓の入會金やら、會費やら納めると、働く日は月の中に二三日か、四五日位でどうにもならなくなつて退會する、會の方ではそんな事に頓着なく、これ幸と百人でも二百人でも、あとからあとからと新入會者を募集するといふ段取りだつたのである。

派出婦は、會に所屬すると共に入會金と會費を納める外に、働き高の二割から三割が會長の取得となるのが普通である。寄宿するものは寄宿費として一圓五十錢から一圓を取られるのであるから、寄宿しなくつても、それ以上の生活費がいる事は云ふまでもないが――どうしても月に二十圓以上を働かねば自活して行けないのである。然るに最近では世間一般の不況から市郡を通じて約七千人の派出婦は、收入が非常にいゝ部類で月四十圓が關の山で、悪いのになると、たかだか一ケ月のお湯錢位、會費を納めるのがやつと云ふのもあるとの事である。

こうした事は、無論、獨り派出婦會だけの事でなく、眼を大きく見開いて見るならば現在社會一般のカラクリとも云ふべき現象ではあるが、その一半は會員自身の婦人たちが無自覺だからである。會員がそれ〴〵稼いで食べて行かなければ

ならない人達である以上、利害を一にしてゐる者同志が團結して、派出婦會を自治的な組合組織に作りあげて合議制にやつて行つたならば、惡會長などに騙されたり搾り取られたりする事なく各自安心して働ける筈である。又よしそれ程組合自體で活動する事が出來ないとしても、會員が團結して一つの組織を作り會長に要求を出したり、提案したりして、もつと働く人達に都合のいゝやうに會の運用を改めて行くだけでも相當の力になる。

いくら警視廳が取締つてくれると云つても、さう〳〵數多い派出會の事ばかり取締つてゐられるわけのものではなく、斯うした事は之で形式的辭令に終り勝ちなものであるから、此問題が警視廳を動かす程世間的に人の視聽を高めた此機會を好機として、派出婦自身が憤起すべきである。（岡田）

産兒調節は單なる防貧施設でない

この頃東京市では、社會事業の徹底を圖るために防貧施設の一つとして貧しい中で澤山に子供を生む母親に調節をはからせることにつき目下調査を進めてゐるとのことである。

これは獨り東京市に關する問題ではなく、今日この頃のやうに生活難が恐しい勢ひで押しよせて來てゐる世の中で、無制限な多産がどんなに多くの犯罪、悲劇の原因になつてゐるか圖り知られぬ程であるから全社會はまじめにこの問題について考へてみなければならぬ題目であると思ふ。

サンガー夫人に依つて提唱されてゐる産兒調節の目的は、單なる防貧施設――即ち貧乏人が多産に依つて生み出す幾多の悲劇を取除かうとするばかりのものではなく、婦人が眞に母性としての自由をもつために、その權利として、自己の健康、生活能力に相應しいやうによく考へて子供の數を選擇すべきであるといふ主張である。

多産だけがさうした悲劇や犯罪の原因だと云ふ主張には多くの異論があるとしても、實際、現實の問題として、多産がさうした原因の大きな一つであることは拒むことの出來ぬ事

（一九頁へつゞく――）

秋の歌

與謝野晶子

大空の光がわたる輕さもて
山をおほへる秋の穗すすき

秋風のうちとけぬごと吹くものか
町の女も淋しきものを

薄の穗つひに野澤の水よりも
白くめでたくひろごりにけれ

しかすがに右左より散りかゝる
落葉に逢へば心華やぐ

木蓮の散りて干潟の貝めける
林のみちの夕月夜かな

物見臺さることながら眼を閉ぢて
われは木の葉の散る音をきく

夕方は霜枯れ時の朝よりも
雁など渡り若やかに暮る

岡本かの子

桔梗の花むらさきに揺れにけり
晶もて刻むみほとけのまへ

叱りつつ出しやりたる子の姿
ちひさく見ゆる秋風のなか

夕蟬はなき沈みつつ葉鷄頭
くれない寂びて秋さりにけり

今井邦子

こまやかに散りゆく庭の萩もみぢ
目にたたなくにあはれ散りしく

朝な朝なたたみ馴れたる麻蚊帳の
折りめくづれて立秋となる

女建國

小泉せい女

女といふものは
同情さへしてもらつてゐれば
みたされてゐるから
おかしなことだが
それはほんとうなんだ。

新しい女の世界では
男性への權力の抗議
家庭的習慣の打破
社會への不平
ただそれだけであらうか。

歌や詩をうたふときでも
女は女らしく
女味を出さなけりや
女のものとして價がないと
たたかれるのだ
あほうらしいが
人間の世界では
それは當り前なのだ。

佛さまだつて
地獄極樂をこしらへて
限定された女の世界から
一寸でもふみ出すと
惡い女だばくれん女と
地獄へ追こまれるのだ
だから極樂に行ける女は
手はカニの様に
無細工にひんまがつて
胃袋に奴隷の燒印をされて
殘飯ばかり喰わされた者なんだ

それで私の考へでは
地球の外にも一つ地球を作るか
でなけりや星の空地を借用して
そこで女王を据え
女大臣を生み
裁判官も――社長も
一切合切女につくりかえ
キリストも女であれ
シャカも女で
女のエンマに女の鬼で
それで世界が出來上つたら
地球から
男を連れてくる。

歴史が一變して
イブが女で
イヴンが男になるかも知れない
おかしなことだが
私はまじめに
考へたのです。

でなけりや
このまゝではやりきれない。

農村の榮養問題

村上賢三

農村問題は今日我國の重要な問題の一つである。その取扱ふ問題の範圍は極めて廣いがここではその一つである農村の榮養問題を取り上げて、少しく考察してみたいと思ふ。

榮養問題は簡單に云へば「何を、いくら食つたらよいか」と云ふ問に對しての答にすぎない。卽問題は「何を」「いくら」食ふかと云ふ二つの問題になるわけである。

今日農村では「何を」食つてゐるであろうか。これが第一問である。

內務省の農村保健調査報告によれば農村の主食物は、多少の例外はあるとしても、殆どすべて米と麥である。副食物は地理的關係により一律には論じ難いが、一般に都市に比して、その種類の少ない事は見逃がせない事實である。

第二問の「いくら」食つてゐるか。この量的調査はなか〱困難である。殊に副食物の正確な量的調査は今日極めて少なく、一般を論ずる事は出來ない。

然し主食物は大體老幼男女平均一人一日當り三・四合乃至七・四合であつて、農民に必要な總カロリーはこの主食物中に殆ど全部少くとも八、九割は含まれてゐるのである。それ

婦人界近事

◇文化學院の講座◇

與謝野晶子女史の、文化學院に於いては來る十月五日から十二月二十八日まで、毎週土曜日の午後文學講座が開催される。聽講者は男女隨意。課目は左の通り。

△現代の短歌と作法（與謝野寬氏）△現代の小說（石濱金作氏）△平安朝文學（與謝野晶子氏）△詩の話（堀口大學氏）――場所は神田區駿河臺袋町――。

◇拒婚同盟◇

地方農村の婦人や、青年が、團結して、いろ〱の仕事なり、運動なりを進めてゆくことは、最近方々に見受けるようになつたが、

にも拘らず今日農村の榮養は低下し、農民の健康は劣化しつゝあると云はれるのは何が爲であろうか。

京大の戸田博士は赤化防止よりも、國民の榮養不良から來る靑化防止の方が急務であると云つておらるゝそうであるが、農村は確かに靑化しつゝある。これは農村に寄生蟲病の多い事も靑化を助けてはゐるが、重なる原因は榮養の如何である。

私は現代農村に於ける榮養低下の原因として次の二つの點に注意したいのである、第一は、農村に近代文化が入つておればおる程その農村では白米を食ふ傾向が强い。

「どうも黑い米はまづい、」「第一體裁が惡い」「文化的でない」等の理由で白米食に傾く。都市では白米食の弊に氣づいて、やれ半搗米だやれ胚芽米だと云はれてゐる時、農村では白米禮讃である。この白米の偏食が農村の榮養低下の一原因であると思ふ。

都市では、それに副食物を容易に得る事が出來るから白米偏食の缺陷はこれによつて補ふ事が出來る。然るに農村に於ては白米偏食の害に對する智識が少い上に副食物の種類も乏しいから、白米偏食の缺陷を補ふ事は困難である。

白米食の缺陷をあげれば蛋白質の不足、脂肪の不足甚だしいこと。ヴイタミンの皆無なること。無機榮養素の缺乏甚だしきこと。皮質纖維質の缺乏。白米の變質し易きこと等である。この缺陷より來る影響はわれ〳〵の體質の異常、疾病に對する抵抗力の減弱、小兒に於ける發育の障碍、脚氣患者の增加である又これが經濟的の影響は白米食による家庭經濟の損失、國家經濟の破綻となるのである。

まだ農村に文化の風が吹かず、今日の樣な精米所もなく、極めて原始的な方法で米を搗き、その黑い米を食つてゐた當時の方が現在よりも、より健康であつた。これは白米と玄

神奈川縣都筑郡柿生村では、約百名の處女會員が此度左の規約を掲げて拒婚同盟を組織した。

曰く、遊廓通ひする男子及び二十五歲以下で飲酒、喫煙する男子とは、結婚せず。

これに刺戟されて、靑年たちの間にも直ちに百名以上の禁酒、禁煙團が生れたといふ。

これまで何ごとにも、易々として、周圍を甘やかし過ぎてきた女性たちによつて、この種の運動をもつと根强いものにして欲しい。そして女として、妻、母として延いては社會人としての要求をどし〳〵持出しては、どうか。

◇婦人消費組合協會の進出◇

久しく消費組合の發展、及び組合精神の普及に努力してきた、婦人消費組合協會では、實際の仕ご

米乃至半搗米との榮養價値の差異から來るのではあるまいか。

白米を標準にして、蛋白質の榮養價値に於て、白米と同等の價値を有する他の食品量を算定してみると次の通りである。

白米一〇〇瓦、玄米一一四瓦、粟一一〇瓦高粱八〇〇瓦、半搗米八〇瓦、大麥一〇六瓦、甘藷一一一五瓦である。

卽半搗米はその量最も少なくして、しかも白米と同等の蛋白質榮養價値のある事を知るのである。この點は特に注意したいと思ふ。

蛋白質の價値を云々する場合にはその蛋白質に含有せらるる食品窒素の量と、それが吸收せらるる吸收窒素量から、その蛋白質の生物的價値を決定するのであるが、窒素含有量の上からみれば、大麥、粟、玄米、高粱、半搗米、白米、甘藷の順序である。吸收窒素量の大小の點からみれば、粟、大麥、半搗米、玄米白米、高粱、甘藷の順である。卽生物的價値は、半搗米、白米、大麥、粟、玄米、高粱、甘藷の順序となる。

半搗米は榮養學上最も大切な蛋白質の點からみて、白米、大麥、其他に優つてゐる。

われ／＼日本人の食物は一般に脂肪分が少ない。殊に白米食ではこの脂肪の缺乏が一層甚だしくなる。半搗米乃至玄米であれば、この脂肪の不足は譯なく攝る事が出來るが、白米から之を得る爲には五倍乃至六倍多くの米を食せねばならぬ。從つて白米食をとる者は大食に傾くのである。

若し脂肪の不足を白米の外から補はんとすれば、肉類、魚類天プラ、バタ等より攝取する事となる。然し農村に於ては、これ等を自由に且容易に得る事は困難な場合が多い。時には不可能でさえある。

今日、中流以下の家庭では家庭の全收入の六割五分乃至七割は食費に費やさるる。これは今日白米食による脂肪並に蛋白質の不足を

とを進めると同時に、十月より會報『婦人と家庭』を發行し、消費組合を中心とする全國的婦人網を計劃し着々組織されつつある。

◇女給さんに署長の訓示◇

カフエー、バーに近頃又、警視廳で目を光らせ始めたが、單に取締るのみでなく、いつそ中に働く人たちに自覺を促したらといふので、去る十六日、北紺屋、築地の兩警察署に、銀座邊の女給さん連三百人を集めての訓示、署長さんに云はせると、人心が、とう／＼として頽廢に傾きつゝあるのは、畢竟、カフエーやバーの女給諸君が美し過ぎ、愛嬌がありすぎるからといふ結論。

で、愛嬌を制限せよ。

不合理な、お出錢制度は廢されたにしても、只で働かせられた上

前述の食品より攝取しつつあるからである。即脂肪含有食品は皆半搗米、玄米、野菜等よりも六倍以上高價であるからである。

　之に反して半搗米乃至玄米をとれば蛋白質や脂肪の有機榮養素は完全に、又無機榮養素も充分に含有せらるる爲副食物としては、反つて野菜類を嗜好する樣になるから、家庭收入の二割五分乃至三割で食物榮養を充分にとる事ができる。若し日本全體が半搗米乃至玄米食になるならば、米の消費量の減少から年々十數億圓の消費節約が出來るであろう。

　第二は、文化の輸入並に交通機關の發達が農村の榮養を低下せしめたと考へらるるのである。文化の潮流が都市から農村へ急劇な勢ひで、おしよせ、農村の生活標準が一般に高くなつた事は事實である。然るに農村に於ける收入の増加率はこれに伴はない。一方交通機關の發達しなかつた往時に於ては、農村に生産された食品の大部分は、その地方で消費せられてゐた。然るに交通機關の發達した今日では、農村で生産せられた食品の大部分はその附近の中心都市に運び去らるるのである。農民は一錢でも高價に、少しでも勞力少く、生産品を賣らんが爲に、これ等生産品を都市へ都市へと送り出すのである。

　昔は豊作とか、豊漁の時には安價に、容易に得られた食品が、今日では皆都市に送られ農村では反つて得ることが困難になつてゐるしかも農村は在來の考に支配せらるる事強くこれ等より來る榮養の缺陷を補ふべき方策を考へ樣ともしない。

　私はここに農村の榮養低下の原因として以上の二點をあげてみたのである。決してそのすべてを云ひつくしたとは考へない。

　若しも農村に於て半搗米乃至玄米食による榮養攝取の方法と、一方産業組合による組合給食の方法が實施せらるるならば、農村の榮養は今日よりは確によくなると思ふ。

　農村の當局者は勿論産業組合の人々が、この點に關し充分考慮せられ、適當なる方策を樹立し、實施せられん事を希望して止まぬ次第である。（完）

日給も、月給も、何處から入る見こみの無い彼女たちが、レイサイなチップをあての愛想を、どう制限したら良いのかと、戸惑ふ鼻先へ、さて意見を述べてみよと、催促された所で、啞然となるも道理何を、どうせよと云ふのであらう。

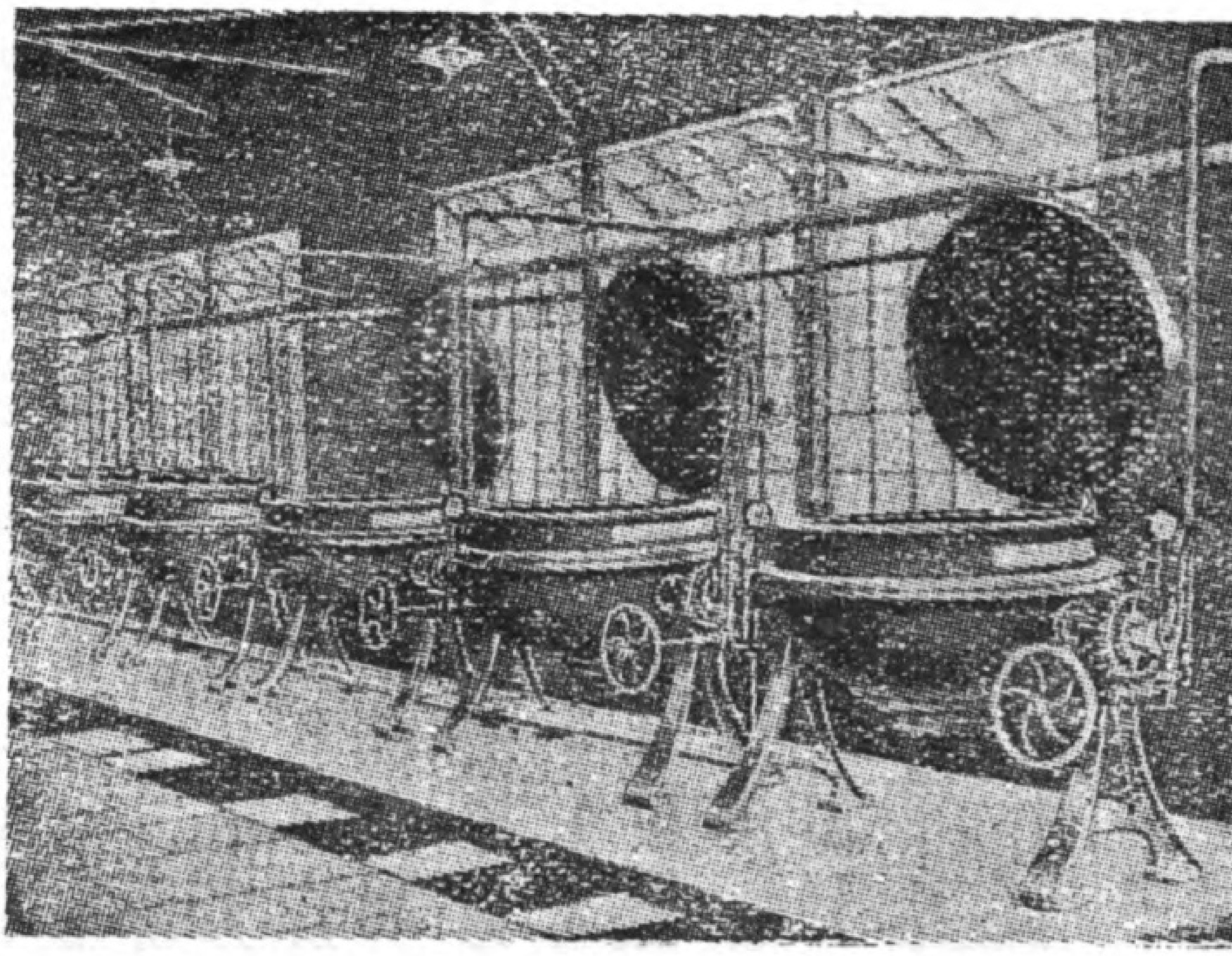
◇婦人の經濟研究◇

　先頃、全日本婦人經濟大會が、關西婦人聯合會主催で行はれた。

　社會情勢に刺激されて、婦人の一般經濟に就いての研究會、講演會等の催しが、非常に盛んになつてきたことは喜ばしい。唯、それが鳴り物入りの政府の緊縮騷ぎに浮き足立つた、いゝ加減な流行からでなく、めい〳〵の實際生活に觀點をおく、地についた、研究でありたい。緊縮、節約政策によつて浮び上る金が、身の皮はいでも溜める。（五二頁へつゞく）

誌上見學

大炊事のやり方



（一）

煩忙な家庭内の雜用のうち、殊に主婦たちの有爲な時間と勞力とを奪つて了ふ炊事に就いて、生活環境が切迫すればする程、私たちは多くを考へさせられる。

女中とか料理人とかを充分に雇へる家庭は例外として、それの許されない場合、他の細かしい用事は勿論のこと、多くは外へ出て働きもせねばならないだらうし勉強の餘裕も欲しい其の上、更に重い育兒に就いても關心を持たねばならぬ主婦、若しくは大かたの女性にとつて、此の何時までも古い形式のまま殘された負擔は、仕ごとや、研究の上に、なんと多くの自由を取り上げ、心勞を強いてゐることであらう。

それにしてもめい／＼の狹い臺所で、めい／＼の買ひ集めた料材と小道具を用ひて、似たり、よつたりの食物調理に三度々々頭る絞ると云ふことは、どの方面から見てもムダが多すぎる。

個々の非經濟的な勝手元から、より合理化され、單純化された共同炊事へ！　大炊事へ！

あらゆる方面に於いて集團的に動からうとする社會事情は、一般の切實な要求の目を、斯うした方面に向けさせせつゝあるのである。

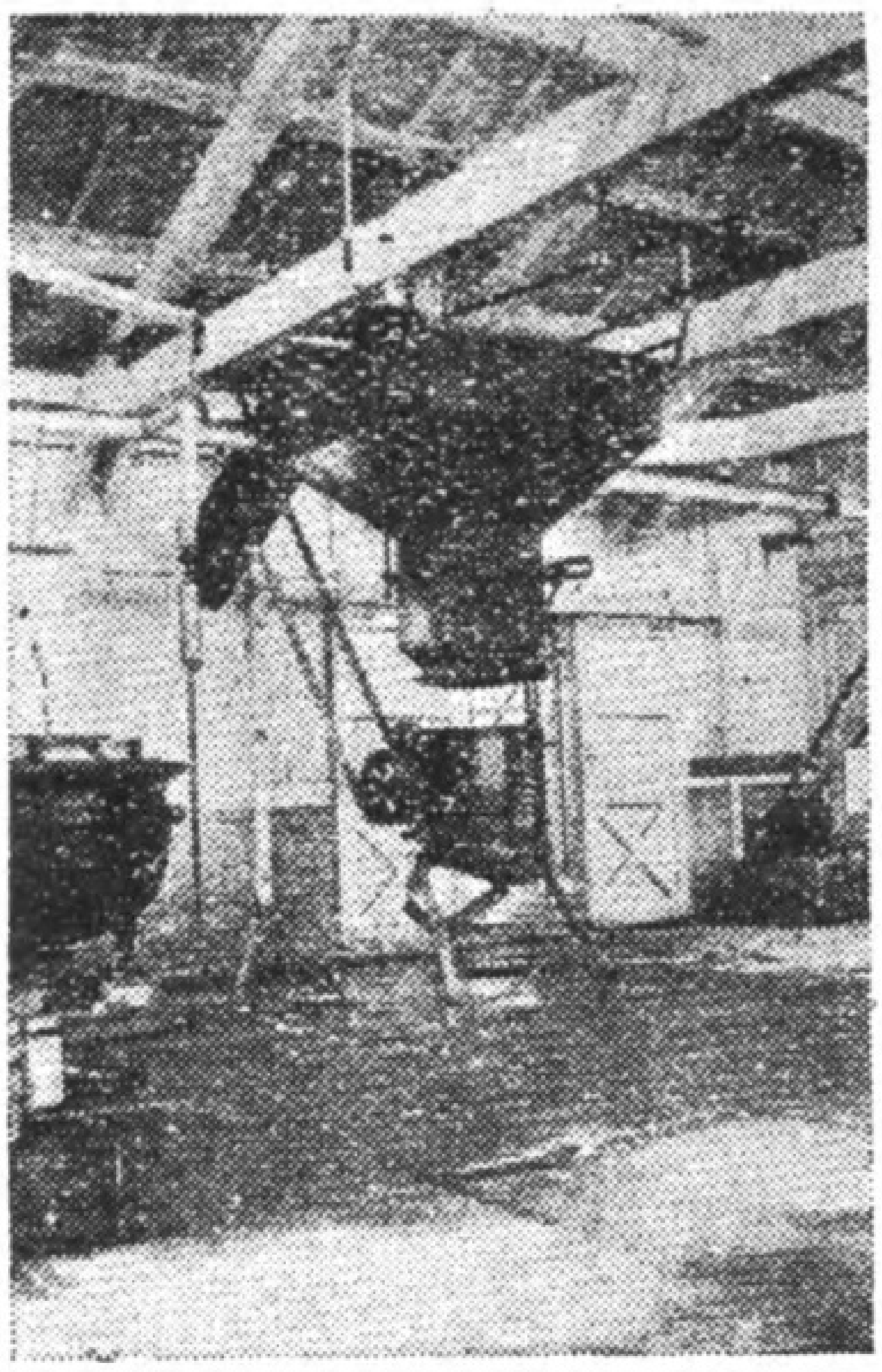
◇　◇

軍隊、工場、ホテル或は大きな病院等の、大炊事を取扱ふ

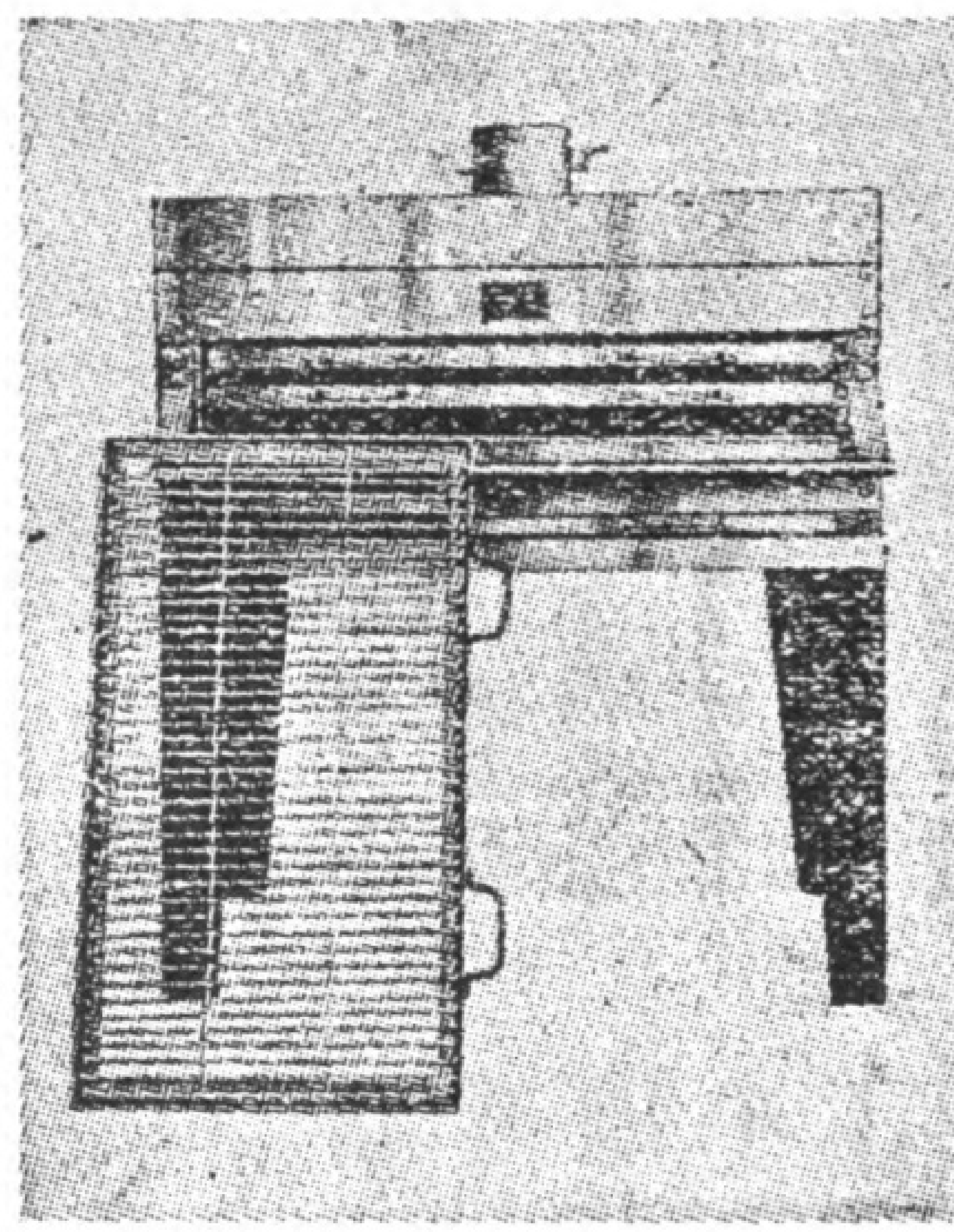
處に於いて、其れが如何に研究され、改善され、能律をあげてゐるかに就いて今回は述べてみたい。

（一）、は炊事場、普通使用されてゐる釜は、鈴木式蒸氣煮炊釜で、四斗炊きのもの――

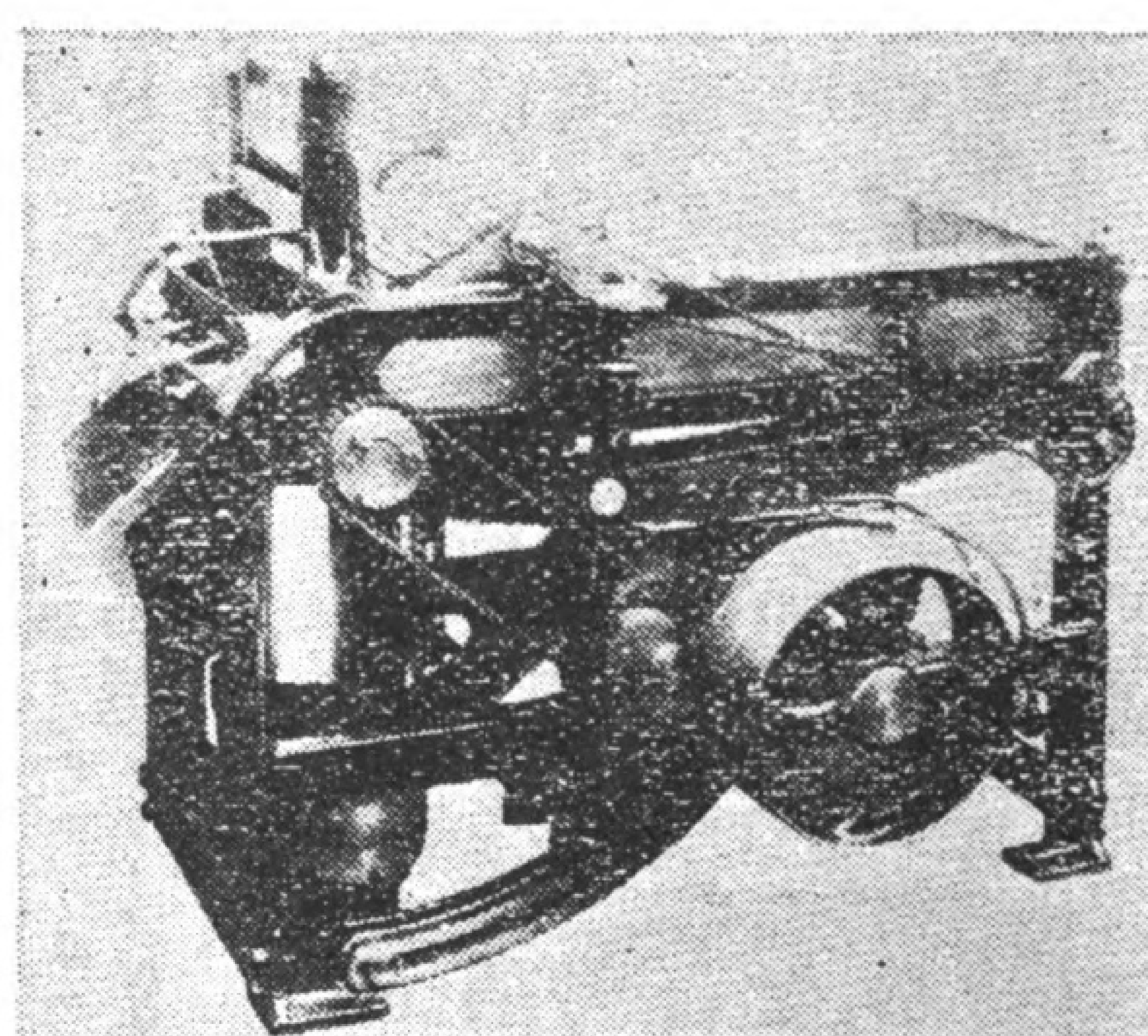
米をいれ、水加減して蒸氣を通すと煮上るまでが七分間、むしを充分三十分としても、最初からお櫃に移して了ふまで四十四五分位。三千人以上働く工場でこの釜を六個位



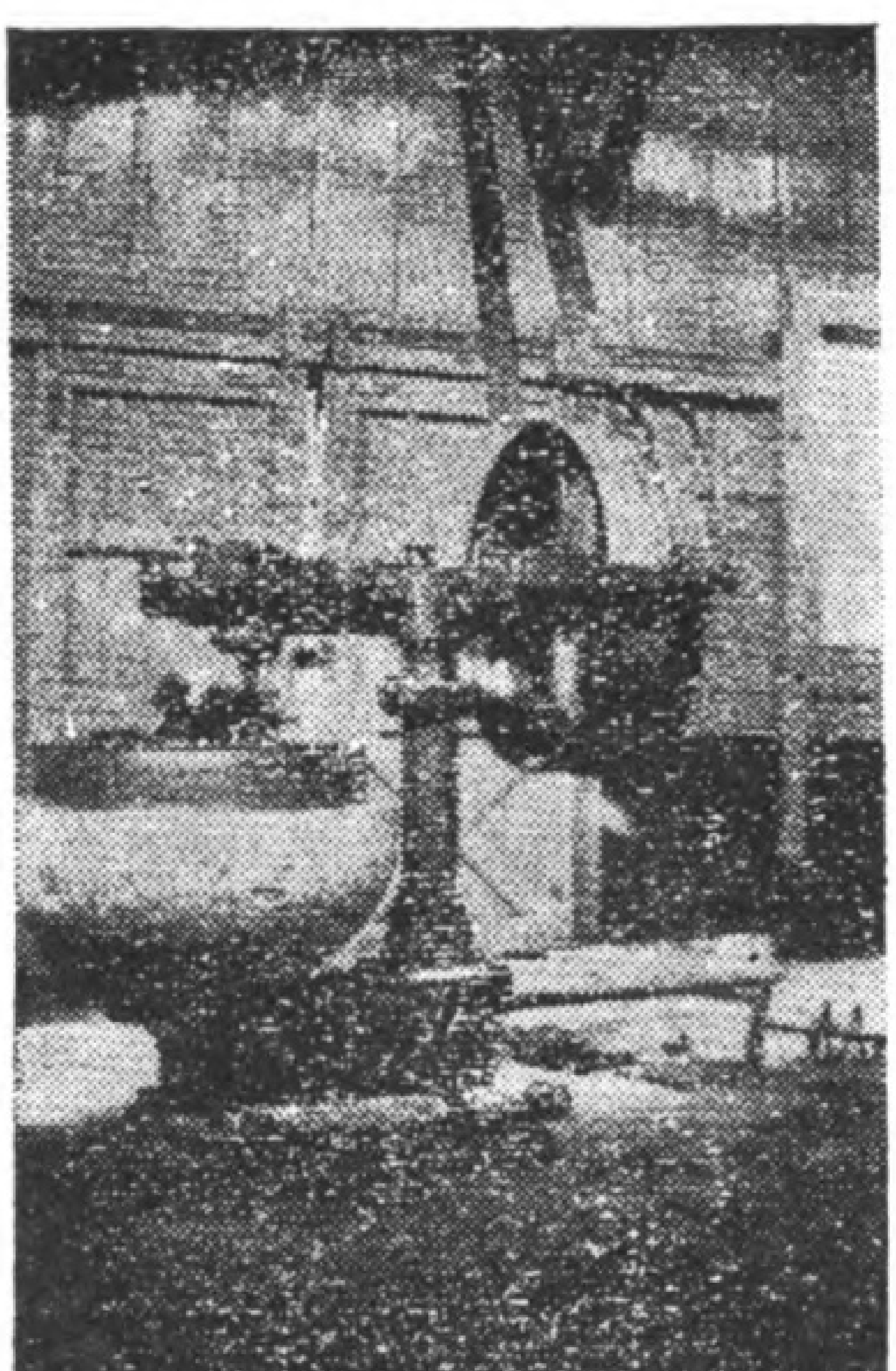
（二）



（三）



（四）

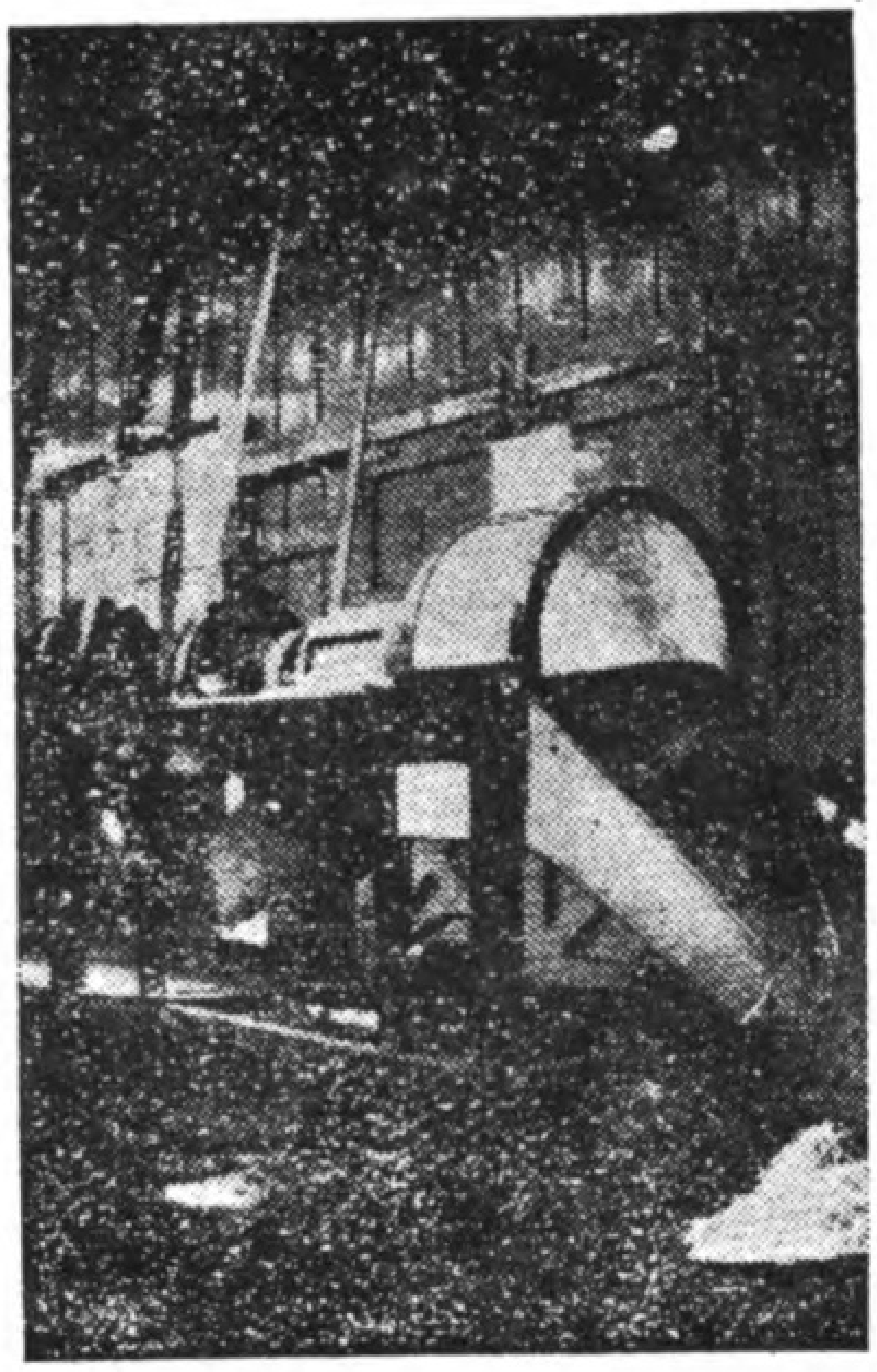


（五）

据え付け、二回或は三回に炊いて居る處が多い。

その場合煮物鍋は三個か四個で間に合ひ、これは直經一メートル内外が普通です。

（六）



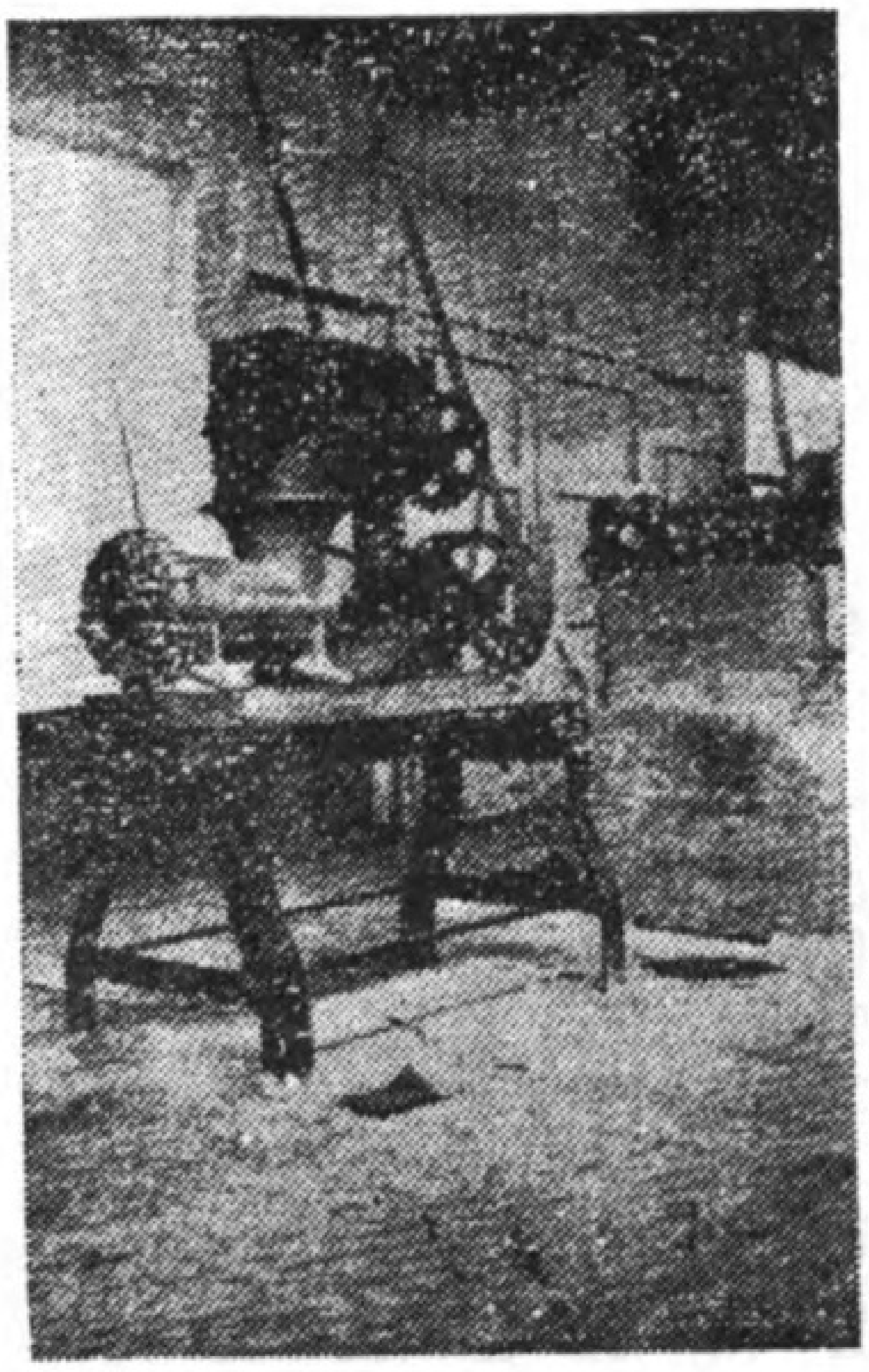
（二）、は洗米自動給送裝置で、米の貯藏箱と、エレベーターと、貯水タンクと計量室とから成つてゐて、洗米器に連接してゐます。米を一俵投げこむと、六分間で洗はれ釜に移して水加減するまで、總て自動作用ですが、此れは特別精巧なもので、大概は籾のまま投げ入れると、それが搗かれ、とぎ上げるまでの機械が用ひられてゐます。（一俵六分間）

（三）、燒物器、魚肉その他を燒くのに用ひ、上下より加熱され、電氣なら一時間五千人分、瓦斯で二千五百人分位です。

（四）、野菜切截機、各種の野菜が思ひのまゝの形に切れます。

（五）、みそすり機

（六）、大根おろし機　五貫目を約十分位。

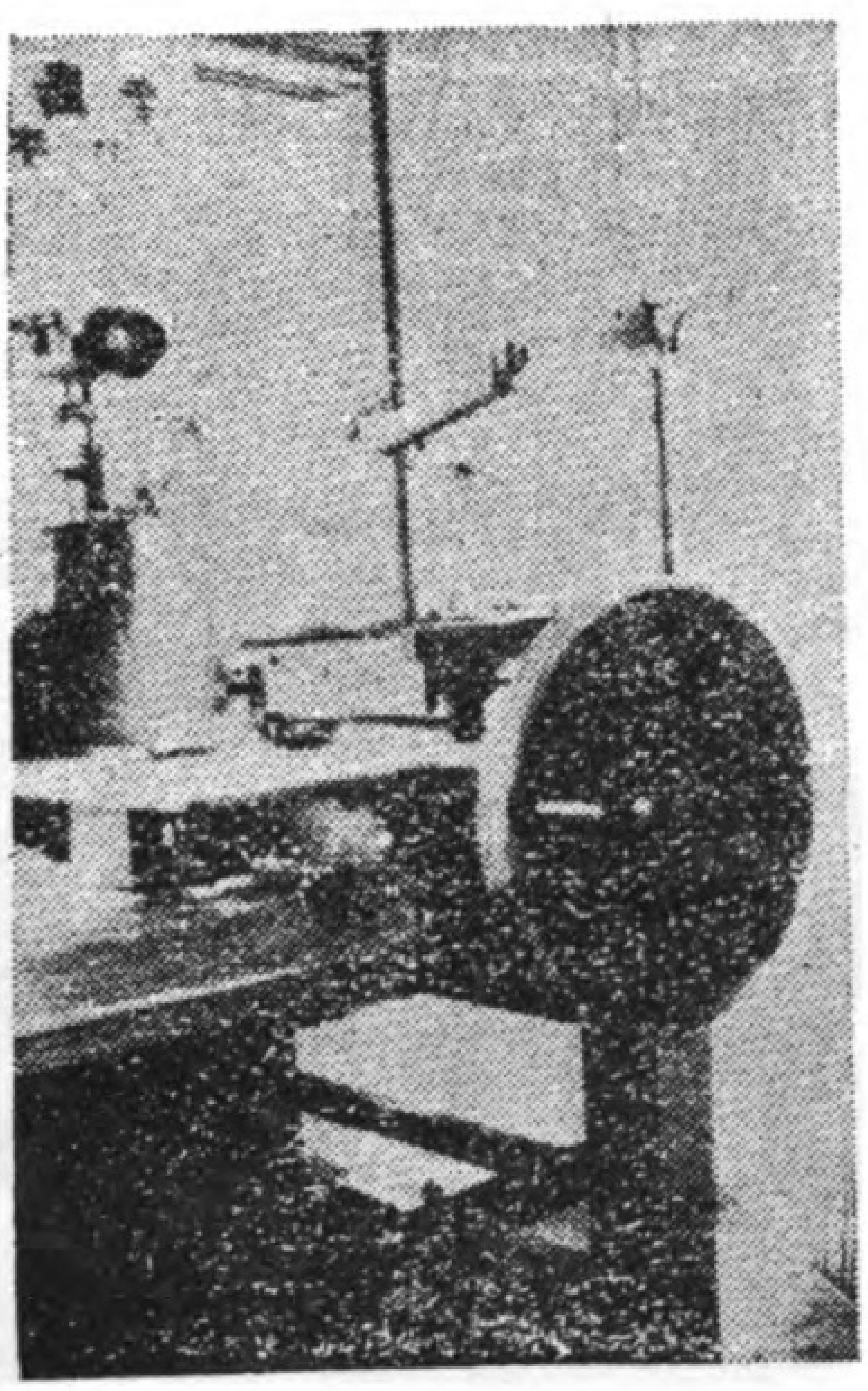


（七）

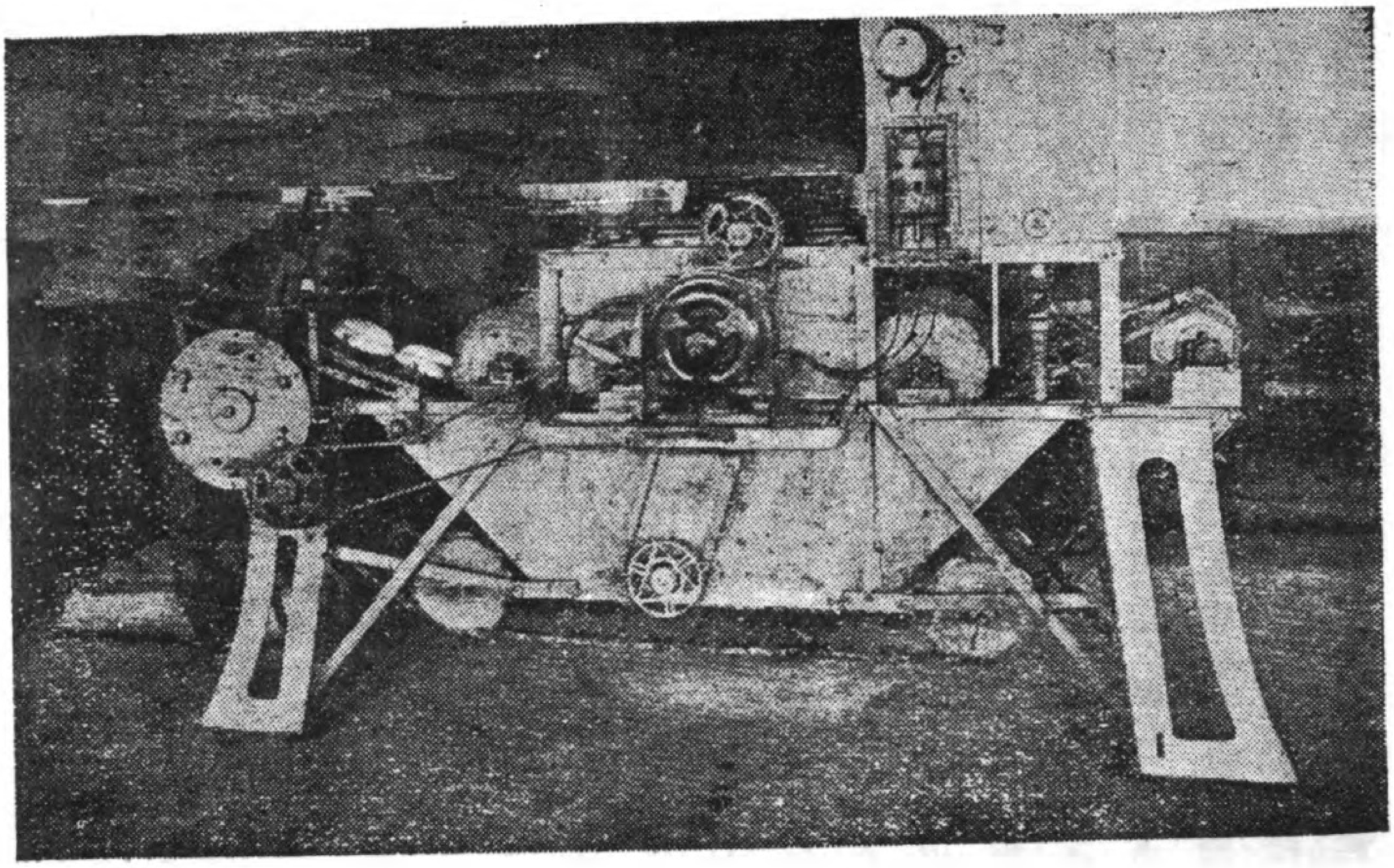
（七）、（八）、は肉挽機　、肉切機。

（九）、自働食器洗滌機、消毒作用をも兼ね、一時間に約二千五百枚位の器を洗滌する。

（八）



その他、味噌、醬油など、短期間



（九）

に、どし〳〵作り上げて用ひてゐる所も多く、漬物にしても大根なり、白菜なり、茄子なりを、大量に、從つて極めて經濟的に購入する事ができる。

次に、それらに要する勞力の點を調べてみると、料理人、一人が受け持つ人員、百二十名から、百三十名が、今の處最も能律のあがつてゐる所で、平均して六十人――七十人見當である。

明暗を利用した防蠅裝置、又は廢殘物の流出法なぞに就いても唯完全な方法が有るといふこと丈けに止めて略します。

炊事研究に就きまして種々御便宜を戴きました鈴木商店、糧秣廠及び鐘紡本店の方々に誌上にて厚く御禮申し上げます。大きな、ホテル、又は、アパートの或るものなぞは、現在に於いての大炊事施設として、可成りにゆきとゞいたものですけれど、私どもは、こうした設備が、大多數の民衆の生活にまで手輕にゆき渡るやう早く實現して欲しいと思ひます。

× × × ×
× × × ×
× × × ×



濱口內閣の正體

岡田宗司

◇田中サーベル内閣の頓死

昭和二年四月の金融恐慌の後を受けて組閣してから滿二年と二ケ月、滿身切られ與三郎以上の傷を受けながら、喘ぎ喘ぎ生きのびて來た田中サーベル内閣は、とう〳〵滿洲某重大事件（某といつてもそれが張作霖爆死事件にからまるものであることは誰一人知らぬものはないでせう。）によつて、ポクリ頓死しました。

第五十六議會では、田中のドル箱久原がウント金をばらまいて、民政黨を切り崩したり、中立を抱き込んだりして、多數黨を作り上げ、また床次に大臣の椅子をやる樣な話をして新黨クラブを操縦し漸く切り抜けたものゝ、貴族院では味噌を付け、財界の方からも未曾有の無能内閣として、てんで相手にされなかつたのであります。彼等は、我こそは議會の多數黨で、民意は我黨にありなんて言つて威張つてゐましたが、實際には民意は組閣の當初から田中になんか無かつたのです。

こうなると金の力でも仲々自由にはなりません。不戰條約問題では、またぞろ久原等を樞密院の操縦係に任命して、どうやら財産を作ることのうまい、精査委員長伊東巳代治をはじめとして慾ばり爺連を操つたものゝ、滿洲事件ではのつぴきならず、ポックリ頓死してしまつたわけでした。あれでも財界が、田中内閣の經濟的手腕にでも期待してゐたのなら、まだ支へられて居たかも知れません。

◇大禮服を出して待つて居た床次順慶

田中内閣の倒れた後には、誰でも濱口に大命が降下して民政黨内閣が出來るものと思つてゐたし、また實際にそうなつたのですが、こゝに、床次竹次郎といふ日本一のお目出度い男があつて、俺の所へ大命が降下すると信じて、齋戒沐浴して大禮服を戸棚から取出して待つて居ました。しかし床次順慶さんがいくらもうろくしても、まさか何の手ずるもないのに首を長くして大命降下を待ちかまへて居たのではありません。

政友會でも考へました。民政黨が内閣を取つたら、政友會をウントいぢめるだらう、そして民政黨に喰はせた二年間の苦しみがこんどは自分の身におちかゝつて來るのを恐れたのです。そこで貴族院や樞密院あたりに根を張つてゐる薩摩の芋蔓を引つぱつて來て、床次洞ケ峠居士と一緒に内閣を作らせ（床次先生はやはり薩摩の出身でありまして、大西郷の私淑者ださうです）、政友會が與黨としてこれを支持し、さてその次には、また政權を政友會へ廻はさせやうといふ根膽で、一芝居打たうとしたのです。だから田中が總辭職と決まつてから二日も決行をぐづついて、その間に薩派の策士、政友會の策士、その他の有象無象が、あはよくばと思つて足をすりこぎにして驅けづり廻りました。それで床次先生も大禮服を出して待つて居たのでせう。

大命は床次さんに下らないで、濱口ライオン氏に下りました。濱口ライオンに後繼内閣組織のことを奏請したのは、風流(?)元老西園寺公望公ださうです。民政黨や、ブルジョア新聞は、これを以つて憲政の常道が確立されたの何のつて、桃太郎が寶物でも取つて來たやうに大騷ぎをして、あたかも西園寺さんの往生際の大功績かのやうに、言ひはやして居ました。しからば一體この憲政の常道とは何でせうか？

◇憲政の常道とは？

憲政の常道といふのは、衆議院に多數を持つ政黨が政權を握り、それが倒れたらやはり衆議院内の反對黨が後繼内閣を組織する、そして一昔前に行はれた樣に暗闇から牛が出て來て官僚内閣を組織することを排除することを指すのです。つまり、一言で言へば政黨政治の確立であります。しかしこれは決して西園寺さんの聰明な頭によつて考へ出されたのでは

なくて、今の世の中で、一番實權を握つてゐる者がそれを要求したからです。

官僚内閣が出來なくなつたのは、歐洲大戰以後急に一足飛びの發展をとげた資本家達が、八面六臂の力を得て昔のやうに政治を官僚なんかにまかせておかないで、自らの政治を行つて、國民を引づりまはさうとして政界に進出したことによるのであります。この爲に、明治維新以來、封建制度から資本主義の確立に至る過渡時代に根を張ることの出來た、官僚軍閥の一群が、政治勢力たるの力を漸次うばはれて、今ではかへつて財閥の言ひ成りになるやうになつてしまひました。

そして今の政友會にしろ、民政黨にせよ、もと〳〵は、官僚に操縱されて居たのですが、資本家達が政治を自分等の階級の自由にしなければならないと決心すると、今度は、政黨に自ら加入したり、または政黨を操縱して、まだ昔の夢を見てゐる官僚軍閥の一群を孤立の地位に押しこめてしまつたのです。

即ち憲政の常道といふのは、資本家達の政治、即ち難しい言葉で言へば、資本主義的政治制度の確立です、しかし、同じ資本家の中にも、いくらか進歩的なのも居り、また保守的なのも居り、また事業を異にしたり、或ひは所屬する財閥を異にしてゐるために利害關係を異にしてゐるものですから、資本家が全部、たゞ一つの政黨を支持したり、操つたりしてゐるのではなくて、今ではたがひに相爭つてゐる二の政黨を作つてゐます。

本當は利害が異るにつれて政黨の數ももつと多い筈ですが今日本の資本家達は、三井と三菱の二大財閥に關係してゐるので、この二大財閥を代表する政友と民政の二黨に公然と或ひは、こつそりくつゝいてゐるのです。勿論中には中立や、床次の樣にフラ〳〵してあつちへ附き、こつちへ附きしてゐるものも尠くはありません。

だから憲政の常道とは、資本主義政治の確立であり、また三井と三菱に率ゐられる資本主義的二政黨の政權のたらひ廻しを指すものにすぎません。床次も今度はこの理が分つたのでせう。とう〳〵キマリの惡さうな顏をして四年ぶりで政友會へ復歸しました。

◇濱口内閣の戸籍しらべ

世間では、民政黨のことを三菱の政黨といひ、政友會のこ

とを三井の政黨と言つて居ます。杉並一馬君に言はせると、政友會は三井の半抱へで、民政黨は三菱の丸抱へで完全な「三菱合資會社政治部」だといふことです。（文藝線戰八月號）

恐らく民政黨の前身、以前の憲政會總裁加藤高明が、岩崎彌太郎（三菱の元祖）のお目がねにかなつて、三國一の婿金となつて持參金百萬圓を有難く頂戴したことは、誰知らぬものはありますまい。今度の濱口ライオンは、三菱の婿ではありませんが、この加藤高明や三菱の大番頭仙石貢等に引立てられた男で、生國は岩崎一家の生國と同じ土佐であります。以前の憲政會内閣の時、幣原外交で、やんやとはやし立てられた、幣原喜重郎さんは、今度も外相になりましたが、この人は加藤高明とは義兄弟でありました。つまりやはり妻君が三菱から御降下になつてゐるのです。

商工大臣といふ仲々重要な役目についた俵孫一といふ人は恐らく皆さんも今まであまり名前も聞いた事がないでせう。それもその筈です、安達の樣な生え拔きの政黨屋ではなくて内務省畑の官吏で田舍廻りばつかりしてゐたのですから。そしてあまり取柄がないこの男が、急に大臣の椅子に收まつたので、皆不思議がつて居ますが、何も不思議ではありません。この男は三菱の大重役であつて、三菱の今日の大をなすに大に貢献した莊田平五郎の女婿だつたのです。

政友會の山本條太郎（元三井の重役、シーメンス事件で海軍の將官連に贈賄して三井物産をウント儲けさせ、その序に臭い飯まで喰つた男）の代りに滿鐵總裁（これは事實上の滿洲王で、大臣なんかよりゑらい職で、その莫大な機密費は、總選擧費用になるのです）になつた、仙石貢は、やはり土佐出身で、三菱の大番頭格の男です。さぞ滿鐵へ三菱の品が入ることでせう。

民政黨中の舊政友本黨系を代表して伴食大臣の椅子を初めて貰つて目尻を下げてゐる文相の小橋一太や、拓相の松田源治は、いづれも山本達雄の子分ですが、山本は、三菱の財政顧問格だといふことです。

どうです、一寸戸籍しらべをしただけでも、濱口内閣が三菱會社の政治部だといふことは分るでせう。これでは民衆の内閣も何もあつたものではありません。

◇民政黨の地盤

いくら三井や三菱財閥の政治部でも、政黨である以上、一

般國民の支持を得ること、實際はひきづつて行くことが必要です。その爲に選擧ごとにウント金をばらまいて、苦心慘憺して投票をかき集め、我こそ民衆を代表すなんて言つてゐるのですが、兩者は、瞞着して自分の味方にしやうとする對象にやゝ相異があります。それは兩黨の發達の歷史にもよることでせうが、政友會は主として農村の地主階級に、民政黨は都市の小商工階段や、月給取なんかを一生懸命に味方に引きつけやうとしてゐます。

だから、總選擧や大都市の市會選擧なをでは、大てい民政黨の方が優勢ですが、田舍へ行けば、殊に人里はなれれば離れる程、政友會の方が威張つてゐるのです。民政黨は、いつでも都會の小商工業者や月給取なんかに媚を呈してゐるから政友會ほど無茶も云はず、いくらかかういふ人の氣をひくやうに政友會に比して小ブルジョア的、進歩的のところを見せて居るのです。それだからといつて、民政黨は進歩的デモクラシー的政黨だなどと考へてはいけません。

たとへば、今東京市で瓦斯價下げ問題が起つてゐます。あの遲々しい瓦斯會社の重役鈴木寅彥は、福島縣の民政黨支部長なんかやつた事のある男で、民政黨の疑獄の親玉三木の一派です。實際の所民政黨でも瓦斯會社の增資を默認して、ウント儲けさせ、その代りに選擧資金の百萬圓も奉納させたくてウヅウヅしてゐるのでせうが、さうも出來ず、商工大臣等が何とか瓦斯會社の顏も立て、自分もいゝ子にならうと、この暑いのにウン〳〵行つてゐるのは面白いではありませんか。これも總選擧を前にして、東京の小市民への氣兼ねです。さうでもしなければ、この問題のために本當に戰つてゐる無產黨に彼等の地盤を喰ひ込まれてしまひますからね。

◇濱口內閣の仕事

濱口內閣が出來ると、すぐに、金解禁をやるの、その爲に大に節約しなければならぬのといつて、大童になつて宣傳してゐます。官省の自働車を減らして見たり知事連の御馳走をけん約して見たり、知事を圓タクに乘せて見たり、仲々新聞宣傳は鮮かなものです。

さてそれからいよ〳〵本筋に入つて、政友會の作つた豫算を大分削つて、一般會計で約九千萬圓、特別會計で約五千萬圓都合一億四千萬圓ばかりを浮かせました。それだから、諸新聞や財界特に銀行屋の方では大評判で、この處、濱口ライ

オンは得意滿面の態です。
では何故こんなに緊縮に夢中になつてゐるのでせうか？その浮いたお金で失業者や、田舍の貧乏のドン底に陷つてゐる小作人に御飯をくわして呉れるとでも云ふのでせうか。さうではありません、これには深い深いわけがあります。

歐州戰争の最中に日本の資本家は無暗みに儲かるものですから、どん／＼工場を立てたり、事業を擴張したのです、ところが大正九年に世界恐慌に襲はれて、事業が片つぱしからばた／＼倒れ、またそれに續く不景氣で品物も賣れなくなつてしまひました。その内にあの大地震で益々具合が惡くなつたのです。資本家逹は、事業がひつくり返つたり、損をしたりするのが命を取られるよりも恐ろしくて、政府にいろ／＼泣きついて金を貸してもらつたり、保護してもらつたりして來ました。そのために昭和二年の金融恐慌で大きなボロが出、またその上に國民の負擔で、ボロ銀行や會社を救濟することになつたのです。

ところが、三井や三菱その他の大資本家逹は考へました、いつまでもこんな姑息なことでは、本當に儲かる樣にはならない。なに、小中資本家やボロ會社位倒れてもよいから、もつと儲かる樣にそして大資本家の地位が強くなる樣にせねば駄目だといふことに氣がついたのです。そこでドイツやアメリカの大資本家のすでに行ひ出してゐた產業の合理化を大急ぎで輸入して來たのです。

產業の合理化といふのは、事業がウント儲かる樣にする爲に、產業を整備することです。その爲には、

(一)會社の合併、會社の聯合を作つて、無駄の部分を整理し資本の能率をあげる。

(二)個々の會社では、冗費の節減、人べらしをやつたり、新機械を据えつけて、金のかゝる勞働者に代らせたりして生產費を切り下げることです。

金融恐慌後、大資本家は、ドン／＼產業の合理化をやり出しました。その結果今まで工場に働いてゐた勞働者がドン／＼馘首されて行つたのです。一昨年から今年へかけて、約百萬人位の失業者が出てゐるでせう。これは金融恐慌と產業の合理化と兩方のためです。

そこで勞働者階級は、今までの苦しい生活の上に更に資本家の御都合だけでどん／＼首にされたり、賃銀を切り上げられたりするのではたまりませんから、猛烈に資本家階級に反

抗し、同じく貧困のドン底につき落されてゐる農民と一緒になつて、政治的に、また經濟的に、横暴な資本家と戰つて來たのです。資本家は、これはこの儘にしておいては産業の合理化をウマク遂行することは出來ない。それはかりか、無産階級が強くなつて行くと看て取つたので、直ちに田中サーベル内閣に命令して、勞働者農民の大彈壓をやらせたのです。

田中サーベル内閣はこれを得意になつて遂行しました。昨春から本年へかけての氣狂じみた彈壓は皆、この産業合理化の前提です。ところが田中サーベル内閣は、合理化のジャマになる勞働者や農民を彈壓することは出來ましたが、もう一つの任務である、政權を運用して産業の合理化を具合よく促進してやる能力に缺けてゐたのです。そこで田中の出來るだけの務がすめば、大資本家は、田中をもう必要としなくなつたのです。かくて田中サーベル内閣は、大資本家達の支持を失つて、先に言つた樣にポックリ頓死してしまひました。

代つて現れました濱口内閣は、そのもう一つの任務を遂行しやうといふのです。喧ましい金解禁の準備といふのは、産業の合理化をやつて、いよ／＼日本の資本主義の根がどうやら固つた時に、外國から特殊國扱ひをやめて貰つて、大に外國の資本主義と太刀打しやうといふことの準備を言ふのです。

その準備の爲に大に産業の合理化を説き、節約を宣傳してゐるのですが、迷惑するのは、無産大衆だけです。産業の合理化でどん／＼勞働者や月給取の失業者が增加する、不景氣は來る。小商人は倒れる。農民は益々貧窮化する。そして節約しろ／＼といふので、身を切る思ひで節約して殘した零細な金は、郵便局や銀行から吸上げて、資本家に貸して、投げてやらうといふのです。

政府が一億何千萬圓の節約をしたつて、無産者の負擔になつてゐる税金をそれだけ安くして呉れるのではなくて、その金を以て銀行屋に都合よく使はせようと言ふ根膽なのです。なんとうまいカラクリではありませんか？（まだ／＼外交政策だの何だの書きたいことは澤山ありますが、割當紙數を超えたのでこれで打ちとめておきます）

こう言ふと或ひはそれは筆者の色眼鏡だとおつしやる方があるかも知れませんが、まあしばらく見ておいでなさい、段々にその正體が皆さんにもわかる程、はつきりして來ますから。

◇

私達無産黨のものは、濱口内閣の組閣の使命をこう見て居ます。だから決して、民政黨内閣の成立を謳歌などしませんまた期待もおいて居ません。それ所か無産階級を犧牲にして資本家の懐をこやしてやらうとする内閣とは徹底的に戰はなければなりません。社民黨の安倍さんの樣に憲政の常道が確立されたの、濱口内閣となら提携してもよいのなどと言つてゐるのは、無産階級を迷はすものです。あれでは資本家や濱口内閣の思ふ壺にはまるものでせう。



讀者諸姉も無産者なら、差迫つて來る經濟的壓迫に對してまた僕等の政治的權利の獲得のために、どん〱この戰ひに參加して下さい。

秋風を追ふ

奥むめお

夏ぢうを、殆んど旅に暮してゐたものですから九月に入つて東京に落ついてからも、未だ、何となし汽車の響きがからだの蕊を揺すぶつてゐるやうで、どうもいけませんでした。

今度の旅では信越線を五六遍も通りましたが、淺間山が見えるあのあたりの廣々とした青い眺めは疲れた私に何より嬉しい慰さめでした。私の癖で、窓硝子にぢいつと額を押しつけて外を眺め乍ら、山を往き野を往き、心から旅に惠まれた今年の夏を喜こびました。

金澤に着いた日の朝は大暴雨に明けました。雷さへ混つてとても甚い雨風が横倒しに吹き荒んでゐます。汽車の窓からは、人間がまろぶやうに濡れそぼつて走つてゐるのが點々と見えるばかりでした。

そんなに甚い日であつたにも拘らず――但し、汽車が入つた頃には陽が射しかけて雨雲はどん／＼流れてゐましたが――今度の會の主催者たちが十幾人も朝の八時といふのに驛まで出迎へて下さつてゐました。家庭の主婦として、朝八時までに驛に出て來るといふためには並々ならぬ氣ぜわしさと氣苦勞とがあるものです。私はたゞ恐縮して小さくなつてゐました。

金澤市も、外の大抵の町がさうであるやうに幾つかの婦人會がすでに有つて、みな申し合せた様に月並みな目的を掲げて存在してゐるのでありますが、もつと現實の生活に卽した婦人會がほしい、といふ若くて元氣な人たちのペンシヨンが今度の夏季婦人講座を拵へ上げました。そしてその講座では醫科大學の星野敎授から、

養育に於ける浪費の豫防

について實際上のいろんな問題に亙る話を聞かせて頂き、かた／＼私を中心にした「婦人と消費經濟」に關する座談會が一組三十人以下といふ申分のない組立てで三回に亙つて行

はれました。

時節柄消費節約といふことは井上藏相をはじめ當局のお歴々までが、大童になつて宣傳まつ最中のことでもあり、とにかく御趣旨御結構と云ふより外ないのでありますが、然し私たちは、如何に節約し、何を緊縮するかに就いて誤りのない判斷が必要であると思ひます。

私は座談會の席上で云ひました。私たちは家庭婦人として今日まで節約出來るほどのことは甚だ節約をして、一錢の金子も、決しておろそかに使ふだけの餘裕をもち合せなかつたやうに思ひます。これ以上私たち個々人が節約し緊縮することに懸命になるとしてもそこにどれだけの結果が生れえませう。むしろ、ほんとうの節約と緊縮は、消費の合理化、協同主義に依る團體的行動、これより外ないと思ひます。營利的な中間商人を排して日用必要品を共同に仕入れる消費組合、日常に便利重寶な機械や器具類を共同の出資金で購求めて互に使用し合ふ利用組合、共同洗濯、共同炊事、共同生產、共同育兒等の便利もおひ〳〵と必要であるであらうと思ひますが、婦人運動として私たちに最も入り易き道はかういふ仕事の一つ一つからこそ初まると私は信じます。

多少の立論の違ひはあれ、婦人團體といふ全ての婦人團體が大多數の婦人の生活と最も關りの深いかういふ問題から入つてゆくやうに常にこの方面への着眼をおろそかにせず進められたいものであります。

金澤から、ちよつと鄉里(福井)に出て大阪にゆきました。家を出て丁度一週間目、獨り旅のわびしさが心の髓までしびれこんだ頃であります。私はいつもの通り驛から程近い古野氏方にまづバスケットを托けました。

古野氏方の三人の子供は、うちの子供たちのやうに野放圖に放ち飼にされた鳥のやうに腕白であります。てんでに無理を云つてはお父さんお母さんを苛めてゐます。始終兄妹ケンカをしてゐます。然しまた犬ころのやうに仲よく兩親にあまへてからみ合ひもつれ合つて伸び〳〵と育つてゐる樣は、私にうちに歸った心安さと落つきを與へてくれるのでした。

此處で大阪市の無產派議員や市社會課の人たちとおち合つた時いゝ話を聞かせて貰ひました。

大阪ではよその市町村に卒先して大いに社會事業を行つてゐるのでありますが、乳兒院だけは失敗したさうです。大阪市が失敗したのではなく、乳兒院事業そのものが失敗に終るべき性質のものだといふことが判つたのだといふのです。(晝の內だけあづけに來る兒は別)乳兒院に托けつぱなしの乳兒一人あたりに就いては總經費が一ヶ月四十五圓掛るさうですが、而も、里子に出した乳兒の死亡率は十人に就いて二人であるのに乳兒院では六人の割合になるさうです。結局、

一人の乳兒のために必要とする四十五圓を三人の母親に分與して母親の手許で育てさせた方が遙かに實質的だと云ふのです。婦人の職業勞働問題の哀しい折柄、乳呑兒をもつ母親への徹底的な母子扶助金制度の必要を今さらに痛感させられるではありませんか。私に嬉しかつたのはこれまでどの政治家達に依つても恐らく考へられもしなかつたであらう、かうした問題――母親の問題子供の問題に就いて、眞面目に討論し協議をする議員が、市町村會にも、縣會にも、國會にも、ポツ〳〵現れて來たといふことです。

新潟へゆく途中でみた忘れられぬ光景――

直江津近くの海岸でした。素つ裸の子供が五六人、大きな聲で何か喚き乍ら夕ぐれの海で波に向つて驅けてゐるのでした。寒からうに、と思ふよりも、

「海に吼えてゐる！」

と、聲に出して私は叫んで起ち上りました。が、愉快で愉快でなりませんでした。灰色に暮れた夕方の海だつたのが强く印象に殘つてゐます。

新潟縣は、どちらも甚い山の中の村でした。富士の裾野で共働主義に依る農村の指導者を養成してゐられる岡本氏の農村青年共働學校の生徒さんが、村へ歸つてからの第一事業として夏季講習會を試みられたのでありました。

「新潟縣つて、隨分だらしないぢやありませんか。既成政黨はとはないとして、新しい理想に燃えてぐん〳〵發展してゆくべき無産政黨までが新潟縣も大分腐敗してゐるやうですね。政黨の喰物になつて、何時まで搾りとられるつもりなんでせう。」

私は、茶話會の席上で第一番に斯う口を開かないでゐられませんでした。

一つの村(塚の山)では、一年の内半分雪に埋もれてしまふとき出稼ぎにゆく習慣になつてゐて子供も女も、働ける程の者は皆出かけて多少、餘つた金子を持つて歸るさうで、貧乏なこの村の經濟は、その出稼ぎで得て來たものに依つてゐると云ひます。だから、村の日常經濟の上に立つ組合運動なんか芽生へやうがない、と云ふのでありましたが、然し、私はさうでないことを主張するのでありました。

出稼ぎに行つて勞働者になり、三助になり、女中になり、工女になりして稼いで來る金子といつたら、それこそ雇主が搾取し切つたあとの滓ほどの涙金にしかすぎません。その薄給に甘んじて牛の如く働いて儉しい生活の結果餘して持つて來る金子！　その金子が今度は日常の生活資料や農耕資本を買ふべき金子にあてられるのですが、それは又、企業家にぼられ、問屋仲買人にぼられ、小賣商人にぼられて當ダルマの

様に膨れ上つた値段で賣りつけられるのです。出稼ぎして搾取され、ものを買つて幾重にも搾取される典型的なこの農村居住者の何て意久地ないことでせう。

斯うした二重の搾取に對して（一般の農業生産者たる百姓の場合に於ても同じですが）はつきりとした目を開いて、採るべき道に早く進んでほしいものであります。貧しいなりにさうしてどうにか斯うにか暮しが成立つてゆくといふことに卑屈にもみぢめな安心を人々は置き易いものでありますが、すでに今日の社會事情はそれだけの安心をすらどん〳〵とぶちこわして行つてゐるでありませんか。不景氣の故に賃銀は減らされるばかり、失業者は巷に溢れて、物價が多少安くなつてもそれを買ふべき金子がないといふ有様です。「東京にはもう、職はありません、」といふ看板を地方の驛ごとに立てゝこの上農村から働き手が流れて來るのを防止するために大がゝりな喰止め運動に既に入つたといふでありませんか。看板立てるよりおまんまを食はせろと云ひたい處ですが、國民經濟の建て直しは、決して、現在の役人の手や政黨に依つて成し遂げられるものでありません。各々が住むところの村、町に依る被搾取反對の結盟の上にのみ成り立つのであります。

東京市社會課主催の勤勞婦人土曜講座に出たとき、私は普通の講義風のおしやべりを廢めて若い人たちと問答體に話し合ひ質問し合つて話を進めました。若い人がまことに無邪氣で自由に自分の思つてゐることや不審な點を云つて呉れるものですからすつかり嬉しくなり愉快でした。

「就職難、求職難、失業問題の喧しい折柄ですが、この中で首の繋れてゐる人は？」

「………………」

「それは何よりです、では、現在首のつけ根の怪しい人？」

擧手二人。

「それは何故だとお思ひです、何故あなたの首が——」

といふ聯想に進めたのでしたが、實家から通勤してゐる者が三分の一位、收入の全部を一應父兄に渡してお小使錢だけ貰ふ人が三分の一位、全部自分のお使錢にしてしまふ人が三分の一位。

「將來いゝ人があつて結婚したら、自分は飯を炊きお洗濯をし買物に歩いて所謂家庭勞務だけに沒頭する忠實な妻君業に落ついて幸福にゆかれるだらうと思ふ人は？」

擧手六七人。

「そんな生活には堪へられぬ。結婚してからも何か自分にふさわしい仕事を持つて働いてゆきたいと希つてゐる人？」

擧手六七人。但し、現在の職業はほんとにつまらない由。

「あとの人はどうしたんです」

或一人呟いて曰ふ。「私に解りません。結婚してからでないと——」

にくまれ口

堺眞柄

　この間から、ガスの問題で、とても大變だつたのです。七月中頃から、五度も六度も、知らない中に、ガスが出なくなるので、それについては、適宜の處置を取らなければなりませんから、目も手もはなされないのです。たま〱ガス工夫が、どうやらガス管を、いぢつているらしいなあと、見受けられる場合は、誰何をし停めるといふのなら、その理由を問ひ質し、猶も强更な場合は、私共の取つた態度についての正當な理由を話して、正當な防禦をするのですから、なか〱大變です。こうした運動が又こうした少さな闘ひでも、あの圖太いガス會社を、へコますための最少の一端にでもなつたら、どんなに愉快でせう。

　御存じの様に、ガス會社は、三十數頁のパンフレツトを二回も配布して、増資の當然、値下げの不理を説いてゐます。モウロウ雜誌を買收して、ガス會社の美德を贊へさせたり、公益事業としての恩惠を宣傳したり、又極度の不景氣に惱む勞働者階級の弱點に、つけ込んで、増資によつてのみ、失業は防止されると放言したりしています。この様な金力と兵力を十分に備へた闘ひをガス會社は挑戰してゐるのです。それに對して、東京市會は、増資反對、値下げ贊成に一致しました。我ら醜市議でも、こゝで露骨に瓦斯を飲んでは餘りに仕事がまづいと思つたのでせう。けれども實際に運動を始め眞面目に對抗をしているのは、無產市議團より他にはありませぬ。市會の表面に於ては如何にも、一應の反對をして市民の御機嫌を取つていますが、さて如何なる對策をたてたでせうか。

　無產市議團は、市會に於る他の市議の腰拔けを尻目にかけて、先づ、瓦斯料金供託同盟を組織し、日本大衆黨の瓦斯料金値下要求同盟、社會民衆黨の瓦斯料金値下期成同盟、社會民衆婦人同盟、婦人參政同盟、婦選獲得同盟、關東消費組合聯盟の參加を得て、直ちに、ガス會社と對峙しました。

　然しながら、ガスは、日々の必用品であり、ガスを引くからには他に煮炊きの設備がしてないのが普通ですから、ガス料金を供託して停められるのは如何にも不便なので、一般の人々が參加を、一寸ためらふやうになつています。然し、それも十人や二十人百人や二百人であるからの事で、若し千人二千人一萬人といふ様な事になつて御覽なさい。ガス會社は停め切れるものではありません。私共の家を停めに來た時の様に一軒に七八十人も工夫を使ふとしたら、工夫も停めるのが、追つつかない位で、それこそ、餘程失業者救濟になるでせう。

　然しこの供託者を二千人五千人一萬人とするには、皆なが、自分の問題として大いに努力をして下さらなくては、駄目です。殊に、ガスは女に關係の强いものですから、女の人が大奮發しなくてはなりません。

　私共は、私共の立場を、無產階級獨自の

立場と云つて、自分自身を誇りにし、又資本家その他日和見のお茶つぴいの追随を許るさないで來て居ります。私共は、普通選擧實施以前、その運動が起つた時、私共の先輩は、社會主義者の立場から、ハツキリとした理由を以て、この運動に加はつたことを聞き知つています。婦人の參政權問題についても、又その運動についても、獨自の聲明と獨自の主張を持つて居た筈でした。そこで今度のガス問題にしても、私共の團體無產婦人同盟は最もよく起つて活動すべきだと思ひます。ガスの增資、値下げは、最もよく無產階級の婦人に、利害が差しひゞくのですから無產婦人の同盟のいち早き處置が必要だつたのです。勿論私も、無產婦人同盟が、唯一の我々の機關だとも思ひませんし、同じ運動をするのですから私共の團體が入つていないから、駄目だとか、力を入れないとか云ふのでもありません。無產婦人運動は、他の婦人運動の樣に、ノンキではなく、迫害もあり、地味でもあり、資金もなく、いろ／＼不都合が伴ふものである事は心得ている積りなのですが、何分、もう十年程の經驗を持つたのですし、無產婦人運動家自身も認めて居られる樣に今日は運動全體が進出して來ているのですし、その上、又分裂によつて闘爭力を分散していた各婦人團體が合同して、とても心强い組織になつた筈の無產婦人同盟ですから私は、希みとお賴みをかけたのです。私自身の中の足らなさを私共の團體である無產婦人同盟によつて、補足したかつたのです。

　無產婦人同盟が、供託同盟に加はつて、他の婦人團體と一緒に私共の誇るべき階級的良心と熱意とを以て活動して御覽なさい。他の婦人團體も、もつと／＼活動的になるでせう。そして供託同盟はもつと成績を上げたでせう。そこでこそ、無產婦人の意氣を示す事が出來たでせうに。そして少しでも無產婦人を、階級的自覺に導く事が出來たでせうに。

　無產婦人團體は、凡そ十年程の中に、可なり組織され、解體されて來ました。その設立頭初に於ては燃るが如き決意と、負ひ切れない大抱負を以ているのですが、その終りは大體消ゆるが如くといふのが多い樣です。それについては、組織の不完全とか、統制の不行屆きとか、指導者の失敗とか、狀勢の見損じとか、壓迫の激烈とかいふ理由があると思はれますが、一番先きに感じられるのは、指導者と云ふか、前衞分子といふかの訓練が足りない事です。先づそういふ人々が、如何にも嘴が青く、如何にも公式的であり、如何にも排他的である場合――それは、自分の立場主張を固守するといふ善意から出るにしても――餘りうまく仕事は進まないに違ひありませぬ。

　無產婦人同盟が、今日ガス問題以外の闘爭にも參加してゐないといふ事には、內部的事情のこみ入つたものが多々あるとは思ひますが、とにかく無產階級運動は、無產階級の解放の日まで續くものであり、從つて、無產婦人運動もそれと同樣ですから、もつと活潑な働き易い團體であつて欲しいと思ひます。

或る官營工場

芝町 住江

官營工場てのは四角な赤煉瓦に包まれてゐて……。エライ人がゐるのよ。皆んな軍人の様に位のある人がおさまつてゐるの。でもそれば紳士じやありませんの。重箱の中におさまつた腐れたボタモチよ。

役人(マネージヤ)は大體農學校や工業學校を出た人々なんです。此の「婦人運動」を見てわかる人は何人あるでせうか。無理もありませんは、大根や菜葉を育てる事をおそわつても人間をつくる事をおそわりません。自然科學に向つた人が社會科學に行くなんて植物が人間になると同じですわね。此の人々は何年間かの任期中何の事故も起きない事を願つてます。事なかれ主義と言ふ主義を奉じてゐますので、改良も發展もあるもんですか。

惡い煙草が市場で見つかるでせう。エライ人は、これは檢査が不充分だとか、原料が惡るかつたとか、あまつさへ女工が不注意の爲めと言ふ原因でお茶をにごして仕舞ふのですが何故そんな品が市場に出てるでせう。煙草がなくて紙屑が入つてゐたり、ゴムがつめられてあつたり、針がつめられてあつたり、不思議じやないこと？ 作業をしてゐる時そんなものなどは身のそばにありません。原因はもつと深い所にあるのです。

一人の不平者もないいゝ工場にしてごらんなさい。檢査は一人もゐらない事よ。先づ人々を氣持ちよく働かして下さい。そちにもこちにも差別待遇が平氣で行はれてゐちやだめですよ。エライ人よ、おわかりになりましたか。若干のしいたげられたる者の仕術であることを。

こゝにも工場委員會があります。ところがいつの選擧にも工長さんが當選するんです。工場委員會てどんなものか知らない人のみ集つてお茶とセンベイをかぢつて來たのです。何の問題もない平和な工場ぢやないこと？ 問題があつても出さないのだもの、出せば先づ自分達の惡行を陳列せねばならないのですわ。

此の委員會にこんなのが出るのよ。笑ひ所じやない。

一、勞働組合を造つてくれと願出ること

二、產婦給與金を減らしてくれ、

三、組合の金がなくなると困るから掛金を多く徵收する様に、

まあこんなのよ、氣の毒の至りです。

職工の家庭に吉凶があるとみんなで五錢や十錢宛出し合つて送るんです。所がね、それを工長さんが取扱つてゐるのですが、若し自分の好きな人の場合だと早速集めるのです。きらいな人の場合は知らんなり。あとで心ある人に聞かれると「あの人は何も私に言はないから」ですと、でも何の爲めに工場を休んだかを知つてゐるのよ。そして前に送つてやらなかつた人の所へも別の人に送る分を平氣で徵收に行きます。誰でもあとのたゝりがおそろしいから默つて

出してゐます。

この工長さんは何か貰へば氣嫌がいゝのですつて。所が少しづゝ何回も持つて行くといゝのですつてサ。一回持つて行つて一〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇週間しかきゝめがないのです。それを又判然と區別つけるのがあざやかなものなのです。

誰かゞ、その人の惡行に注意でもすると「私のやつてゐる事に何も言はないで下さい」ですトサ、ダアツ……人殺しをして火をつけ强盜してお巡りさんにつかまつたドロさん、「私のやつてゐる事に何も言はないで下さい、私は私の勝手だから、かまわないで」と云つてドロさん通るでせうか？

官營工場は色々の設備が備つてゐて他の民間工場の模範だ。と世間でも認めてゐるでせう。所がね、カーテンがわかめの樣にボロ〳〵よ、天窓の綱は腐つてしまいました。眞黑なカーテンから醤油色の光が射して來ますの。

扇風器があります。設備だけはとてもいゝのでもね工場中は煮え返る樣に暑いの。天井につるされた扇風機がなまぬるい風をユカにたゝきつけると塵と一緒になつて緩かな速度で上へ昇るでせう。仕事してゐる身になつて御覽なさい。本當にたまつたもんぢやないのです。

工場には窓があります、それもほんの少しばかりですが。その窓がね、外から見て規律ある樣に見せる爲めに、何時も開け具合を一定してゐるのよ、風があつて困つても、風がなくて困つても勝手に開閉が出來ないのです。窓は裝飾の爲めに出來てゐるでせうか。目的と手段が何時も此の調子よ。

健康保險はこゝにもあります。でも、どの樣になつてゐるものかしれませんけれどもサツパリ内容がわからなくなつてゐますのよ。療養票をね、各自に持たして置くとなくすからつて工長が取あげておくのです外の工場だつたら問題でせう。勿論共濟會の金を使はせない爲めに醫者にかゝるに面倒な樣にのみ向けてゐます。

目曜日や工場歸宅後に病氣になつたのでは保險金はかけてゐても療養票を取あげられてゐるから自費で醫者にかゝるか、賣藥を買はなけりやなりません。それに誰も文句言はないのよ、言はれない樣に出來てゐるのです。何故？ 世間は不景氣ですわ。

雇はれる者の悲しさ

野中やすえ

私は十三時間勞働に從事してゐる田舍のデパートの職業婦人であります。公休は一月に一度。六ヶ月以上入店してゐる者は他に一度午後六時までの休養を與へられてゐます。

勞働時間と給金とのつりあひがとれてゐないと思つても、要求するだけの勇氣がございません。皆首を切られることを恐れておとなしく勤務いたします。口惜しいが仕方がないことでございませうか。

三月だつたか、會計の一人が首になりました。決算終了後無斷で六時に早歸りした

ためでありました。店の方では九時まで使ふつもりでゐたのであります。主謀者として一人だけ解雇されて、それからはみな交代で一人宛九時まで、殘り他は六時に歸ることを許されました。要求を入れられるまでには、犧牲者が出るといふことを如實にみました。まことにつまらぬ世の中でございます。

農村より

宮崎まさの

拜啓、先日はお手紙貰にうれしく拜見しました。妾四十日ばかし胃腸病に苦しみました。でもゝう大へんよくなりました只今不都合で送金できないのですが、九月號迄つていたゞけませうか。

自分はかなしき水平者婦人であり、貧農婦人であり、おまけに世の失敗者であります。このどん底から解放の叫びを上げやうとする一人であります。明治四十三年生れのムスメです。

大衆黨の人から五月號いたゞきまして本誌をしることができました。それから芝の總同盟へ行きまして赤松常子さんには一度お會ひしたことがあります。これで失禮します。皆樣の御健鬪を祈ります。

婦人の力のみで婦人解放は望まれぬ

小海隆三郎

婦人運動とはどんな競技をやるのだらうどんな走り方をするのだらう、位にしか考へて居ない山の中の娘達や物知り顏をしてゐる女性達に對してお話をして下すつて餘りに手答いのないのに失望もされたでありませうが、然し遠からず淡い渦も起らぬでもないでせう。私共男性に向つて女性に對する運動の必要さをもはつきりと明示し勇氣付けさせて下さつた事は確かです。

婦人消費組合協會の計劃であられる技術持つ婦人で社會運動に理解ある闘士を農村に派遣する仕事は、一刻も早く實行される樣切望します。單なる當地方としてではなく疲弊せる農村としてです。思想的に特にグラつかない、環境に簡單に節を賣らない婦人をしつかり養成して農村婦人の啓蒙運動を大いに起して下さい。

婦人運動は當然婦人のみの力では婦獲同盟位が關の山でせうと考へます。どうしても新興階級運動のしかも眞實なる解放運動と合流せねばならぬものと考へます。權力亡者共を目やすにしては解放運動内に權力を造り運動を横道と墮落とに導くものだと想はれます。

消費組合の帳簿（仕入れ帳、賣上記入帳配給帳等）の一枚二枚かをひつぱいでお暇の時參考までにお送り下さいませんか。今直ちに組合を作らうとは考へませんが幾分か深く考へやうと思ひますから。

○

「婦人運動」誌に一言、異性の考へではありますが、一つか二つの建設的方法を明示する論説が乘ることが出來たなら何恐るべ

き程の異彩を放つ様に思はれますが。

模倣誌には苦境の泣言も一面必要ではあると思ひますが創造的建設に主力を注がねばいけない様に想はれます。暴言多謝。

主婦として圓滿にやつてゆくために

森はつゑ

……………（前略）

つまらん事に理窟ばつた事を云つたり些さかの事で人と爭ふたりする人が大嫌ひです。生れるとすぐ兩親の間の一人子として貧しい乍らに純眞な愛で育てられた私は、學校の間は小學校でも女學校でも一通りならず可愛がつて下さる先生に斗り受持つて頂きました。私は世の中へ出て見ますとかなり僞り多いのに驚きましたけれ共、周圍の總てからほんとに愛されて育つた御禮心とでも申しませうか、善い事も出來ないかはりに、せめて自分の周圍に集る人達に誠心で對してゆきたいといふのが私の心でございます。十九のお正月結婚してから三十二の今日迄只の一度も主人と爭ふた事はございません。父も主人もかなり神經質の氣むづかしや故其間にはいつて、一家の人達に一度の喧嘩もさせぬといふ事は算術の試驗に十點をとるより物理試驗に滿點を採るより、どれ丈頭を使はねはならんかわからんと思ひます。しかし私はよくかうした事を考へるのです「出でゝは何萬の軍を動かす大將軍でも、或は何千の生徒を心服させ得る校長先生でも、たつた一人の母と妻との間に立つて苦しむ人の如何に多いかといふ事は、姑の位置に立つ人も嫁の位置に立つ人もとくと〳〵考へてほしいと思ふのです。東京などでは親の許を離れて暮す人（若夫婦）ばかり故あまりそうした事は分りませんでせうが、當地などではそれの爲に延び得ぬ人も如何に多いか知れません。

× × × × × ×

月給をとつてみたい

花田まちよ

「婦人運動」とはすぐにお友だちになつてしまいました。充されないでイラ〳〵してゐた心を幾らかでも補つて頂いたやうな、どれも全く同感です、と一々うなづきました。頁を重ねる毎に私の心は刺戟され、この今の心へ火を燃しつけられたやうなものです。

××××を卒業して家へ歸つて、家事を手傳ひながら至つて平凡な暮しをしてゐるまでゞすが、それが私に實につらいのですこの不平と苦痛を、どう云つて說明したらいゝかうまく現せぬのでもどかしいんですが、まづ私の惱みの根本は、世の中が不景氣であることから初まつてゐます。こんなことを今更らしく申上げたら笑はれるかしれませんが…………（略）。

うちではお小使錢にも不自由で、私には

一錢のお金子さへないんですもの。勿論働いてゐないので。――だつて、女中代りに大人數の家族の炊事をして隨分とへと／＼になるまで働いてゐるのですが、それは收入になる仕事でありません。せめて本代だけでも稼ぎ度いんです。私のまわりの人達は、女は机の前になんか座るものぢやないと思つてゐますが、然し、たべるためにのみ生きてゐるんぢやがまんがなりません。

林芙美子さんのあの原稿――月給をもらつた嬉しさは何にたとへ樣もない、父や母の笑顔をみたとき、親孝行てこんなにわけのないものかと思つた――をよんで、あゝ私も親孝行がしてみたいと。月給をとつてゐらつしやる人をほんとに羨ましく思ひました。年寄つて苦勞ばかりしつゞけてゐる母に「母さん、これおサイ錢に」とあげたらどんなに喜ぶでせう。

鳥取より

鹽谷　和子

皆樣御健在でございますか、私は姉和子を通じて「婦人運動」を拜見させて戴きました。このたび彼女が虚僞でかたまつた搾取層に屬する家庭を捨て雄々しく無產者解放運動に身を投じましたについて、强靭な白色テーラーは私にまで加へられて、婦人運動讀むさへ迫害されました。故料金さへ失禮してしまひました。惡しからず御免下さい。では失禮します。

貧しさに

西澤　ばつ

心のたるまんとする時、御誌に依つていつもどんなに强く／＼鞭打たれてゐますことでせう。だのに誌代をためてゐましてほんとにすみません。毎月今月こそは、と思ひ乍らどうしても今、家からお金子をいたゞけません。來月月給を貰つたら、少しでも頂いて御社へ送りますから、どうぞ雜誌を止めないで下さい。勝手乍ら御誌はぜひつゞけてよんでゐたいのです。お願ひまで。

二九頁よりつゞく

その集りがどう使はれ、どう利用されるのであるか、それが多數民衆の生活と、どう關係するのか、はつきり見極める必要があらう。

緊縮どころか、この上は食べることをよすより他にない、大多數の生活を、尻目にかけて、次々と明白になつてゆく幾多の瀆職、疑獄事件は、何を語る、何萬、何十萬の金が、右から、左へ、バラ撒かれる間違つた社會組織の、巧妙なからくりに較べて、何時までも、お人好すぎる國民は、この際自分等の社會を、眞實、檢討する必要があらう。

×　×　×　×



求職難

幾年かの間、パンのために働かしつゞけてゐたペンをおいて、ふと周圍をみまはした私は、驚くべき世の進展に目をみはつた。しかも、私は一歩も前進してはゐないのだつた。さて、私は最初のステップをふみ出さなければならない。

樺山千代

「スグコイ」といふ電報が、君子が奉職口をたのんであつた横濱の加代子から來た。

また新しい口があるといふのか、それとも、一週間まへにH商館でうけたタイピストの試驗の結果をしらせやうといふのか、はつきりと見當がつかなかつた。けれども、とにかく來いといふ上は、惡い報告でありやうがないと彼女には思はれた。

君子は、横濱の外國商館に三度試驗をうけに行つて、二度しくじつた。三度目が、H商館なのであつた。

彼女は、疲れ切つてゐた。が、それだけ口のことで、非常にあせつてゐた。で、電報を見ると、急にまた新しい期待に活氣

づきながら、仕度をはじめた。

夫の正行は、電報の内容をきいたつきり、默つて、赤い坊主疊に、斬りすてられた蔦のやうに細々とねそべつて、汚點の多い天井をみつめてゐた。

それをみると、彼女は、ふと、心が重く曇つて行くのを感じたが、直ぐまた自分を取りかへした。積極的に反對されるのでなければ、かうした夫の態度には、出來るだけ、無關心であらうと思つた。

末梢神經的になつてみたところで、結局、彼女達に殘された道は、海岸で、彼女が働いて、夫の正行を養生させるより外になかつたから――

「思ひきつて、海へでも行つて、一二年遊ばなきや、取りかへしのつかん事になりますよ」

君子は、コールターのやうな暗室のS博士の聲を思ひ出す。博士が電氣のスイッチに手をかけると、おそろしい機械の唸りとともに、夫の體からぬけ出したあばら骨が、天井からぶら下つた石版に、ほのかに――やがて、はつきりとはまり込んだ。

「右の肋骨と、左と、どつちが黒いです」

「右の方が……」

彼女は、その時、石版の前の現實の夫の存在をたしかめるやうに、そつと、夫の着物にふれてみた――

「どうしても、行くんですか？」

天井をみつめたまゝ、正行がいつた。干瓢のやうになつたレイヨンの單衣帶に、錣をあてゝゐた君子は、手をやすめて、夫の方をみた。夫の白い額には、靜脈が蚯蚓のやうに、ピク〳〵と這ひ上つて來た。

「どうしてもつて……どうして？　やめ、とおつしやるの？」

「さうはいひませんよ。たゞ、僕は無駄だと思ふんです。それに、もし、パスしても、僕は、自分の屈辱的な立場を思ふと、不快なんです。それや、あなたは優越的な立場を獲得するんだから、いゝでせうが……」

彼女は、突然、何もかもを、ぶちこはしてしまひたいやうな、爆發的な衝動におそはれた。が、辛うじて、鏝を持つ、指先に、ありつたけの力をこめて、喰ひとめた。

「また、あんなことを……なぜ！　なぜ！　さういふ考へかたをなさるの？　私には、どうしても、あなたの心持が分らない」

「それや、強者は、自分の施しの快感に有頂天になつてゐるから、弱者の心持は分らないものですよ」

くるりと、背をむけて、頭をかゝへた。彼女は、燒けるやうな視線を夫の後姿に打ち込んだ。ぐつと、胸許から涙がこみ上げて來た。と、彼女は、はげしい神經の疲れを意識した。ボヤ〳〵と鈍つて行く視覺に、薄い木箱のやうな夫の後姿がうすれて行つた。彼女は、緊張した凡ての感情が、ガタ〳〵と、たゞ一つ、哀憐のうちに崩れ込んで行くのを感じた。

「ね、もうそんなことをいつて、私を困らしちやいや、さうするよりほかに、どうしてみやうもないことは、分つてるぢやないの？」

夫は答へなかつた。彼女は默つて着物をきると、チヤリと淋しい音のする財布を、帶の間にはさんだ。

二時間の後、君子は山下町のコルク會社に加代子をたづねた。

「御苦勞さん、あのね、日英商事會社といふのに、今、タイピストを探してるのよ。一寸、H商館へ行つて、この間の首尾をきいてらつしやいよ。もし、駄目だつたら、そつちへ御紹介するから……」

チヤキ〳〵と事務的な、加代子の言葉をきいてゐると、君子は、妙に壓迫を感じるのであつた。自分が、牛か何かのやうにのろくさく思はれて憂欝になつた。

奥からは、工場の機械の雜音を刻む、歯ぎれのいゝタイプライターの音が、たへ間なく聞えて來た。

コルク會社から五六丁行つたところの、灰色の痩せてのつぽなビルデイングの、狹い階段を果しもなくのぼつて行くと、H商館がある。

おそる／＼ドアを引くと、見おぼへのある顔色の惡い給仕が出て來て、彼女を見ると、

「あゝ、いらつしやいまし」

と、同族に對する好意で、笑顏をつくつて、

「今、支配人はお出かけですけれど、もうすぐ歸られると思ひますから。少しお待ちになつて下さい」といつた。

君子は、事務室との境の、衝立のかげの椅子に、汗で足に吸ひついた裾をたくし上げて、どつかりと腰を下ろした。體の運動が停止すると、急にサツ／＼と、のぼせて來た。彼女は、ジク／＼と滲み出る喉や、手首の汗をふきながら、パタ／＼と扇子を使つた。火事場のやうな、ほてつた空氣がゆらいだ。

小さい長方形の窓の外の狹い空地は、四方から將棋のやうに建物でかこまれてゐた。その一つの窓に、汚れた白服の支那婦人が、糊袋のやうな乳房を出して子供にふくませてゐるのが見えた。汗で、ぴつたりと額に後れ毛がはりついてゐるのが、こちらからも感じられた。

事務室では、五六人の社員が、まぶしいやうな白いワイシヤツで、テーブルに向つてゐた。その中で、垢染んだ染絣の給仕の後姿が、彼女に親しみを感ぜしめた。室の隅のアンダウードのタイプライターは、彼女を迎へるには、あまりにも、艶かに光つてゐた。

一時間、二時間、けれども支配人は歸つて來ない。時に、全身的に、不安と焦燥が彼女を襲つて來た。彼女は、その都度、グリ／＼と踵で床を揉んだ。

「無駄だと思ふんです」

さういつた夫の言葉が、針のやうに、胸を疼かせた。

君子は、ふと、靴音に射すくめられて、思はず襟元をたゞした。

「や、この間は………」

その聲に、彼女は反射的に立ち上つた。脂肥つた支配人は、片手で帽子をもち、片手でポリ〳〵と、頭のふけを飛ばしながら、事務室の方向に踏んだステップをそのまゝ、印刷されたハガキの文句よりも事務的にいつた。

「實は、適任者がありませんからね、東京の本社から迎へることにしました。惡しからず」

さういつて、彼が最後のピリオッドを打つやうに、かすかに下げた頭を、上げた時には、彼の體は、衝立が、廻轉したかと思はれる早さで、向ふ側にあつた。

衝立を境にして、彼はもう、完全に彼女の存在を忘れてゐた。職がなければ、目の前に、飢と、夫の病死とを控えた憐れな一人の女の姿は、チラと、視野のはづれをかすめた一つの影ほどの印象も、彼に殘し得なかつた。

「おいおい！　誰も來なかつたのかい？」

靜かな部室に、粗製のラチオのやうに汚なく反響する彼の、彼女の訪問を全く無視した、聲をききながら、君子は、コツコツと洋傘の先でリノリウムの階段をつきながら下りて行つた。

二時の太陽は、アスフアルトの道路から、焰をふいてゐた。さめた洋傘のかげに、君子は猫のやうに目を細めながら、もう一ぺん、コルク會社の方へ歩いて行つた。彼女は、加代子から、新しい紹介狀をもらふと、海岸通りの日英米商事會社をたづねた。

君子は、住宅向の靜かな一室に通された。テーブルのわきに、一臺のタイプライターがカヴアーのまゝ据えてあつた。隣室から鮮かなキーの音がきこえて來た。

廊下を、時々輕い靴音が行きゝした。やがて、一つの靴音が、彼女の居る室の前に止ると、ガシヤリとドアのハンドルが廻

轉して、ダグラスを曲線的にしたやうな英國人が現れた。

「經驗がありますか？」

それは彼女の耳を不意に平手で打つやうな早口の英語であつた。

彼女は、舌の先の硬ばつた英語で半年前に、タイピスト學校を卒業したつきり、實地の經驗のないことを答へた。すると、彼は、見本と、二枚の紙とを出して、コピーするやうにいひ殘して、室から出て行つた。

彼女は、機械の前に腰を下ろして、紙をはさんだ。そして、落付いて手の汗をふいた。惡感のやうなものが、背筋をぬつて消えた。やがて彼女は息をつめて最初の指を下ろした。神妙に、神妙に……だが、五六行目に、彼女の指は、キーとキーとの間に落ち込んだ。と、つゞいて、スペースをぬかした。彼女は大急ぎで紙をはさみかへた。カーツと身内が燃えて來た。隣室には、鮮かなリズムがつゞいてゐた。

八分通りところへ英國人がはいつて來て、紙をぬきとらせた。彼は「ふん、ふん」と、鼻から聲をぬいてうなづきながら、默讀してゐたが、やがて目をあげて、

「家はどこですか」といつた。彼女が「東京です」と答へると、不思議さうに、横濱に來やうといふ理由をきいた。

彼は、無器用につかへたり、テンスを間違へたりしながら語る彼女の英語を聞きながら、目で、靜に、彼女の樣子を觀察しはじめた。

彼女は、語りながら、黄色くなつた足袋の足を、ゴソ〳〵と椅子の奥におし込んだ。そして、相手の目が、彼女の衿許にある間に、よれ〳〵になつた綿絽の袖口を引きのばした。けれども、彼女は、赤く火照つた自分の顔や、姿が、まるで自分のカンヴアーセーションのやうに醜く、この瀟洒とした英國人の青い眸に映つてゐるのを、はつきりと意識してゐた。

憐みを乞ふやうに、熱心に語つてゐた彼女は、次第に、絕望的になり、しまひには、いひやうもない自己嫌惡に憂欝になつて來た。

「こゝは忙しいですから、よほど手の早い人でなきや、困ります」

と、お総ひに巧みな日本語で、彼女のまづい英語の口直しをするやうにいつた英國人の言葉と、
「無經驗で、外國商館のタイピストにならうつて無理よ、暇な日本商館か、平事務員でなきや……だけど、そんな所だつて、相當に經驗のある求職者がうんとあるから、中々はいれやしないわ」
と、突つ放すやうにいつた加代子の言葉とを、彼女は代る代る反芻しながら、しぼんだ洋傘を引きずり／＼櫻木町の方へ歩いて行つた。
滿艦色のショウウインドウが、イルミネーションの眸をぱちくりさせながら、顏をならべてゐた。まばゆいやうな寶玉の海、贅澤な洋家具の群、べた綵の衣裳の洪水――その間を、美衣の男女が金魚のやうに氣取つて泳いでゐた。
「同じ人間に生れながら我々は食ふことも出來ないのだ。働かうにも口がないのだ」
ある不合理に對する憤が、嵐のやうに胸に渦卷いた。
彼女はペイプメントを蹴つて裏通りにはいつて行つた。ふと豊かな天麩羅の匂ひが、吸氣にまぎれ込んで來た。彼女は、胃袋がはりつくほどの空腹を思ひ出して、フラ／＼とその店の野簾をくゞつた。
「いらつしやい！」
「天丼！」
彼女はさういつて、曲木の椅子に、ぺつたりと腰をおとした。
彼女はぼんやりと籬の桔梗をみつめてゐた、が、視覺はなかつた。
ふと、坊主疊にはりついた夫の姿があらはれた。彼女は、そのそばで泣き伏してゐるのであつた。傍には、しぼみきつた財布が投げ出されてある。
「ぢや、このまゝ、飢えて病死してもいゝとおつしやるの、いけないわ／＼、どうしても生きなければや！　私達は結婚したばかりぢやないの？　戰ふわ、戰ふわ、あくまで？」
突然、ヒステリカルな泣き聲が口をついて迸り出さうになつた。
が、その瞬間に彼女は現實に投げ出された。小女のしなびた手が、彼女の前に天丼の鉢を置くところであつた。

編輯方針を改めましたに付

本號から、本誌を編輯する私の態度が變りました。思つてゐた半分も實現させられなかつた憾みがありますが、でも、大分私らしい雜誌になつたでせう、と云ひ得るやうに思ふのです。私は創刊以來七年間といふもの、成べく私らしい匂ひをこの「婦人運動」にのせないこと、いろんな方のいろんな意見を入れてくことにしてゐたのでした。然しこの頃いろ〳〵感ずる處がありました。そして、本誌を讀んでゐて下さる大部分の方は、むしろ私らしい處の無さすぎる「婦人運動」に失望と不滿をもつてお出でだといふことに心づいたのでした。これから私は編輯者としてもつと讀者のみな樣に忠實な私の雜誌を拵へあげてこれまでの御好意に酬ひたい決心でをります。

どうぞこれからも、一層お心添へを頂いて、私がいゝ雜誌を拵へられる樣、私の書いたものを多くの方が讀んで下さるやう讀者が殖えて私の仕事の經濟的基礎がしつかりしてゆきます樣助力して下さいませ。いろ〳〵してゆきたい仕事を持つてゐますけれど、どうもお金子におはれていけません。どうぞみなさんのお力で讀者を殖やして下さい。見本用としての本誌が御入用でしたら、いつでも申込んで下さい。

それから本誌をよんでゐて下さる程の方は私たちの仲間となつて、御主張や感想をどし〳〵送つて下さい。誌上を以てみなさんと親しくなりませう。（むめお謹記）

誌代は前金で送つて下さい

九月號は全然休刊する積りでなかつたのに、旅に出すぎたためとう〳〵手廻りかねました。おわび申上げます。

前金切れのお方にハガキを差上げましたから早速送金願ひたう存じます。郵便局に不便な處は切手代用で結構ですから封入して送つて下さい。職業婦人社はみなさんの誌代の上に今年七歳の歩みを健かに進めさせて頂いてゐます！

「職業婦人の家」の募金報告は

「家」のための募金を大分怠つて來ました。秋風に元氣づけられて大いに馬力をかけて集めたいと活動に入りましたどうぞなほ一層お加勢頂きたうございます。

なほ、その後の募金の結果の御報告は、職業婦人協會の會報（十月より發行）につゞけて掲載してゐますから、會員外の方で入用の場合はお申込み下さいますやう。

編輯室より

さぞ待ち詫びてゐて呉れるであらう幾多の温かい心を思ふと一刻も早く發送にまで漕ぎつけたくて、まどろこしい努力に、つひ頭丈が、あせつて先走りして了ふ。

人間の力つて、有りたけ投げだしても、やつと之ればちなのかと、その都度、自分への不滿が暗く突き上げてくる。

然し、何んと數知れぬ若い魂が、純眞な魂が眞劍に生き拔かうとして、激しい戰ひをつゞけてゐることであらう。正面から『人生』に切り込んでゐることであらう。

多くの人々に接つする毎に、澤山な手紙や、はがきに目を通す毎に泌々そう思ふ。そしてこれらの新らしいお友だちが『婦人運動』を取りまいて次々と增加してゆく力强さは、瞬く間に私の懐疑なぞ、かたづけて了ふ。

×　×　×

夜おそく歸る郊外の道の兩側には蟲の聲が、さん〳〵と流れ初めました。

秋ですね。

暑い間、とかく怠け勝であつた氣持を引き締めて、みつしり勉强しませう。私たちの周圍には、いくらも知らなければならない事、考へなければならない事が渦卷いてゐます。

目を開かなければいけない、見まはさなければいけない、と思ふのです。不平や、不滿を感じない程、いじけて了ひたくない。そして正しい批判をそこから導き出しませう。まだ〳〵あまりに何ごとにも無關心でありすぎます。

×　×　×

工場から、農村から、その他あらゆる分野から、『婦人運動』に參加して下さる方々の作品をいつも深い感激を以つて、拜見致しております。そこに描き出される一つ〳〵の生活姿態を透してどれだけ多くの現實を汲みとることでせう。どし〳〵送つて頂きたうございます。

×　×

消費組合運動に、職業婦人協會の仕事に、婦人運動の編輯に、その他、講演に會合に、家事に、育兒に、實際はたで見てゐる者の方が、目のまはりそうな奧さんの、ことを思ふと自分の歩みの、たど〳〵しさが、歯がゆくなります。仕事に馴れないせいもあつて、つひこまかしい心配もさせて了ふのです、要するに、もつと〳〵懸命になりませう。皆さまもぜひ〳〵支持して下さい、應援して下さい。

（かづえ）

昭和四年九月卅日納本
同　年十月一日發行（毎月一回一日發行）

誌代は全て前納にして下さい、送金は振替が一番便利です、誌代領收の證に雜誌を發送す

郵税一錢

前納誌代
一部……25錢
半年…1,10圓
一年…2,80圓

發行所　東京市牛込區市ケ谷本村町四　職業婦人社　振替東京六四一六〇番

發行及印刷人　奧むめお

早稻田大學

新時代は切に吾等に高級なる
專門知識の修得を迫つてゐる

文學講義
政治經濟講義
法律講義

何人も讀まざるべからざる大學教育の理想的獨學自修機關

新時代の一般大衆に取つての第一の用意は、眞に間違ひのない新知識を廣く、深く、精確に修得することにある。而して之が目的を達する爲めには組織あり系統ある講義錄による外ない。

三講義共
一冊菊判四百頁
每月一回發行
學費月一圓二十錢
一ケ年半修了

本大學より發行する上掲三講義錄は創立以來いづれも四十有餘年の歷史を有し、時代の進展に伴れて改造に改造を加へて今日に至つたもので、眞に名實ともに備はれる大學講義錄である。

見本進呈

中學・女學・商業　各講義共新學年開始見本進呈　電氣工學・電氣工學豫科

春季新學年

東京牛込　早稻田大學出版部　振替東京一一二三　電話牛込三四五五番

大正十三年十一月二十二日 第三種郵便物認可
昭和四年九月三十日 印刷納本
昭和四年十月一日發行
婦人運動 第七卷 定價二十五錢



婦人運動 附錄

婦人と家庭

（創刊號）

發刊に際して

丸岡秀子

私共婦人は消費經濟の主體として重大な使命と責任とを果して居ります。が、今や世は擧げて不景氣の深刻を告げ、私經濟に於ても、國家經濟に於ても實に難境に置かれて居ります。從つて近時著しく消費經濟の合理化が叫ばれて參りました。加ふるに現内閣は全國民に呼びかけて消費節約の實行を期して居ります。併しながら、その何れも各家庭にしつかりしみ込み、その家庭の臺所を受持つてゐる婦人に支持を得ない限り決してその目的を果す事は出來ません。

それには先づ何よりも先に、私共婦人が消費經濟に於ける自分達の地位を自覺する事が急務であらうと思ひます。消費經濟の實權を握つてゐる所の婦人が消費者としての明確な自覺を持つといふ事が消費經濟合理化の根抵であらうと思ひます。先づ私共は私共がその中に住んでゐる所の今日の經濟組織を眺めてみませう。現在の經濟組織は決して私共消費者の爲めの親切や便利の爲めでなくして只儲けの爲めのからくりであります。こうした組織の中に住む消費者たる私共の生活が如何に不安な、不合理なものであるかといふ事を知る時、この不幸な私共の生活を解放する道がどの方向に向つてゐるかゞ明かになるだらうと思ひます。

思ふに無論節約も大切でせう。然し單なる節約に重點を置いてはならぬと思ひます。何故なら今日、日本の大多數を占めてゐる無産階級者、及び小市民の生活にとつて、此の上何處に節約の餘地がありませう。加ふるに財政の緊縮は多くの失業者を續出する事を豫想せねばなりません。之等の事は、直接、臺所生活に當つてゐる婦人の立場として、日日、直接に、痛切に體驗させられてをる所であります。この現狀から脱しますのにどうして消費節約だけで出來ませうか。

私共は主婦又は母の立場から消費經濟の方面に於て互ひに手を取り合ひ、消費經濟合理化の爲めに協力し、以て社會改造への一方面を分擔すべきである事をこの場合特に强く感じさせられます。眞に合理的な國民經濟の建直しと社會改造と更に私共の消費經濟を合理的にし、その生活の安定を計るといふ重大な使命を持つて生れた『婦人と家庭』こそ婦人の心と手で十分に成長させ度く切望いたします。

◇賀川豊彦氏曰く・・・・・

新人堀切市長の懇請を入れて東京市社會局に入られた賀川氏は、何を初めるか？ と今、全市民から注目と期待の焦點におかれてゐられます。氏は古くから消費組合運動者であり、わが協會に對しても常にお力添へ下さつてゐましたが、今度わが國の婦人消費組合運動を有力にする必要を痛感せられて私たちの協會を極力お助け下さることになりました。氏の言葉を次に――

『今日消費組合の運動が男子の間に思想的に行き亘つてゐるだけで實行的能力をもつ婦人が、未だ消費組合に興味を感ぜず協力參加してゐないといふことは何といつても致命的な缺陷である。婦人の間へ熱心に働きかけてゆく消費組合運動が必要であることはそのためである。此の婦人消費組合協會を中心にして全國の主婦たちが起つて實行に入つてほしいものである。



組合協會にお入り下さい

婦人消費組合協會にお入り下さい。とおすゝめするに當つて、協會はどんな仕事を進めてゆくものか？ に就いてあらましを書いてみます。共鳴して下さつたら明日と云はず今日すぐ入會をして下さい。

婦人消費組合協會は消費者として婦人が團結する協會であります。必らずしも婦人ばかりが此の世の中の消費者ではありませんが、婦人が消費生活の主なる擔當者である點に於ては敢て家庭婦人に限らず、職業婦人も、農婦も、漁婦も工場鑛山に働く婦人も、みな共通の利害に立つものであります。

ところが、私たち婦人は此の消費者としての自覺をほんとうにおろそかにしてゐたと思ひます。てんでバラバラに物を買ひ、めいめいが昔の様式そのまゝの家庭勞務におひまわされて、あたら一生を雜用の中に埋めてゐました。婦人消費組合協會は、このものゝ買ひ手として、家庭勞務の擔當者としての婦人同志の間に連絡を圖つて、助け合ひ教へ合ひ、又常に私たちの消費生活を有利に、合理的に、實質的にしてゆくために協力しやうとするものであります。

そのために婦人消費組合協會は、各地の婦人會母の會家庭會處女會乃至は未組織の婦人とつねに連絡をとつて私たち消費者婦人同志が共通の問題について考へ合ふ――必要に應じて實際運動にも入る――ために、講習會、講演會、茶話會、バザー、見學、遠足、共同購入等々をします。外の婦人會でもかういふ催しは始終してゐる所ですが、協會は、さういふ團體行動を機縁にして親睦遊樂を圖る外に、常に、消費者婦人當面の問題に就いて、話し合ひ學び合ひ協力し合ふことに中心をおくのであります。又さういふ風に運ばせてゆくことに適任な人を大いに養成して各會面のお役に立つ樣働いてゆきたいと希つてゐます。

本紙第二、三面リポートにもある樣に協會では婦人子供用品の一部を賣ります。然しこれは婦人消費組合協會が自分で消費組合を開始したしたのではなく、それに依つて浮ぶ剰餘金を以て、共同の積立金を作り協會の運動資金にあてたいためであります。全ての婦人團體が成べく會費を安くして、その代り多少に拘らず日常必需品の共同購入及び共同生産加工を――成るべく中間商人に儲けられぬ樣――して積立金を生みそれを有効に使つてゆくことは、ものゝ買ひ手である婦人としてまことに實行し易い道ではありますまいか。

ゆくゆく私たち婦人の手で、出來易いものから品々の生産加工にも入つてゆくならば、所謂生産者から直ちに需要者へ確實なものを割安に提供することが出來て、安い工賃で頭をはねられる憂へもなく、高い値段でうんとぼられる恐れもない、正しい取引きを極めることが出來ませう。多數の婦人團體と力をあはせて、ぜひそこまで進みたいものであります。

協會はこの近道から入つて、あらゆる機會に何處へ行つても婦人の間に消費組合運動の理想と實際を徹底させるために「私たちの消費經濟生活を合理化するためまづ消費組合に入りませう」とすゝめます。そして消費組合（や購買組合）の在る土地ではそれへの加入をすゝめ、未だ無い處では早く作る樣にとすゝめ、又既に出來てゐる組合が消費組合の理想から遠い變なものでしたら婦人の協力で内から改めてゆくやうお手傳ひします。

殊に消費組合婦人部を確立して消費者婦人の團結と教育を圖つてゆくことが目下の急務だと、この頃消費組合當事者の間に熱心に叫ばれてゐるのですが、わが協會創立の動機は多分にこゝにありました。この方面にも特に充分働き進みたいものであります。

なほ、社會改造の原動力母性は私たち婦人のもの！ と確信する婦人消費組合協會は、つねに母の立場から、子供の問題や妊産婦の問題や、職業婦人の問題や、病氣療養の問題や等々、についてまじめな反省を社會に促し、必要とみとめることはどんどん實現させてゆくやうにも絶えず力を協せてゆきたいと思つてゐます。（奥むめお）

私たちの申合せ

一、家庭婦人相互の親睦をはかりませう。
一、家庭生活の改善の爲に協力しませう。
一、家庭婦人の間に經濟思想を養成しませう。
一、母及び主婦の立場から社會生活の改善に入つてゆきませう。

◆本協會の創立は昭和三年五月◆
◆會費は年に、一口五十錢です◆

消費組合 婦人消費組合協會

共同積立金のお勸め

婦人の一人一人の叫びは空吹く風に消去られますが、此が百千萬と多數合すれば合する丈強い力となります。

婦人の協力ー
婦人の團結ー

此の外に私共婦人を救ふ道はないと信じます。婦人の協力の實行の一つとして又消費としての婦人の自覺の表はれとして共同積立金の創始を御勸めします。一錢二錢の小金が一人一人の財布に別々に入つたのでは、表はれる力ともならず、又知らぬ間に出てしまひ勝なものです。しかし、その一錢二錢も多數共同で積立てる時は目に見える大きな力となりませう。

消費組合の設置
巡廻製薬所設置
共同授產場又は炊事場、浴場
託兒所
講習會
巡廻看護婦……等々

婦人の共同利益となる仕事はいくらでもありませう。一臺のミシンでも十人が共同で購入すれば、それだけ分擔は少なくなる筈です。他人と一しよはうるさいと女はとかく共同する事をさけたがります。しかしそれでは、婦人全體の生活の向上は何時まで立つても望めません。さあ私利私慾と捨て、隣人と握手しませうー

本協會はさういふ運動に對して出來る丈協力させていたゞきたいと思つて共一つの實行方法として生產者から直接消費者へ製品の取次を始めました。

生產者から消費者へー
消費の合理化ー

これは元來協會が皆様へお勸めしたい目的の第一のものでありますから皆様はそれを實際に利用して下さることによつて、消費組合主義をなるほどと體驗され、近くの消費組合へ御加入、又組合のない所では創設と動いて下さるならそれで大きい目的は達しられてゐるわけですが、今一つ目的を持つてゐます。それは前述の積立金の問題でこれは婦人の凡ての仕事の基礎である協力團結の具體でありますし、極めて簡單にとりつき易い仕事だと思ひます協會もその爲めにば何かの形で協力の意志を表はしたいと思ひまして、共同積立をなさる團體の注文申込に對して實價の五分乃至一割を割戻すことに致しました。(平田のぶ)

毛糸取扱ひます

二錢切手封入御申越次第見本を御送りします。

會員募集

◇本紙は入會申込者に無代配布◇

講師派遣

消費經濟、產兒制限、和洋裁縫、料理、手藝、編物、染色、家庭敎育、育兒、美容等について、經驗ある講義を實費で御紹介いたします。

御注文申込みは

△必ず前金のことにして下さい
△なるべく振替でを御利用下さい
△御注文は
東京市市ケ谷本村町四
婦人消費組合協會
振替



軸……エボナイト
ペン先……九金
型……小振
加工……本格

定價　一圓
送料　十八錢
團體割戻　一割

婦人用家政着



△朱子製(壹圓六拾錢)
△ムツ綾製 A(壹圓六拾錢) B(壹圓八拾錢)
△色合は黑紫小豆、紫紺、花色、オリーブ、黑。

臺所用割烹着



△キャラコ製、胸のえり三角
並品　八拾錢
レース附　九拾錢

△青縞ギンガム

大巾、一ヤール　四十三錢

アッサリした青の棒縞です。品質は丈夫で、洗濯がよくきゝます。男兒のブラウスワイシャツに適します。

△ドビーギンガム

大巾　一ヤール　五十二錢

ほんとに氣の利いた赤白の格子です、幼稚園、低學年の女兒服として、立派です色の白いお子さんには、ことにはえます地質染色御紹介です。

△白富士絹

大巾　一ヤール　九十五錢

極く淡いクリーム色の上品な布です。品質は二等品です。婦人用女兒用のブラウス、ワイシャツに適します。

羽二重製
パージン月經帶
—耐久的—
新型　金壹圓貳拾錢
バンド式　金六拾五錢
ネル附　金九拾錢

レデータ
理想的御婦人

徳用包
上製レデータイ　參拾五錢
レデーメン十枚入(三ケ月用)　七拾錢

試用包
レデーメン三枚入
並製レデータイ附　四拾五錢

丈夫な子を生んで丈夫に育てたい方には**バスコを**
多産性で御困りの方には完全確實な婦人座薬バスコを御すゝめします
A 八拾錢(十二錠入)
B 六拾錢(十個入)
送料十二錢、團體割戻一割
産兒調節についての御相談に應じます

冬服豫約注文受開始

女兒水兵服

綿セル製

號	年齢	身丈	定價
1號	七、八	一尺七寸	三圓三拾錢
2號	九、十	一尺九寸	三圓七拾錢
3號	十、一二	二尺一寸	四圓也





男兒冬服

—別製黒綾小介—

(送料拾八錢 割戻五分)

號	年齢	上着寸方	定價
1號	七、八	一尺一寸餘	參圓貳拾錢
2號	八、九	一尺二寸五分	參圓參拾錢
3號	九、十	一尺三寸五分	參圓四拾錢
4號	十、十一	一尺四寸五分	參圓五拾錢
5號	十二、十三	一尺五寸五分	參圓六拾圓
6號	十四、十五	一尺六寸餘	參圓七拾錢

(近刊豫告)

婦人パンフレット

……謄寫刷……

㊀消費經濟と婦人
わかり易い消費經濟の話。

㊀消費組合家庭會の活動
全國各地の消費組合に於ての婦人の活動を。

㊀產兒調節の理論と實際
產兒の調節はもう實際問題として東京市の當局にさへ考慮される時代になりました。よい子供を程よい數に生んでよく育てるのこそほんとうの親の義務です。

◇和服を洋服に
和服を洋服に利用した經驗。

◇洋　裝　法
初めて洋服をお召しになる方の爲に。

◇冬のスタイル
A　婦人服の部
B　子供服の部
家庭婦人向、職業婦人向、男兒、女兒と凡て實用を主としたもの。

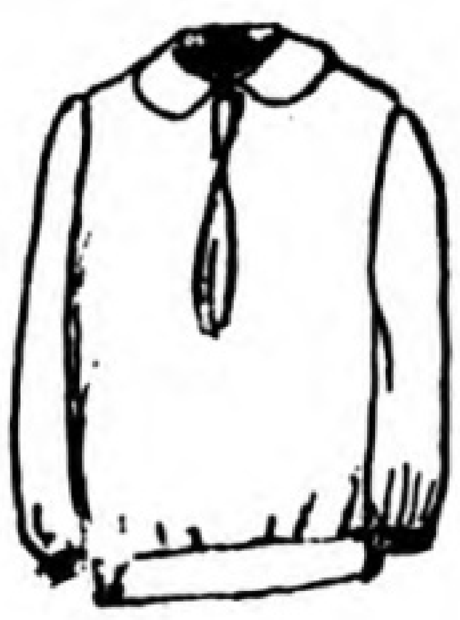
◇型紙と縫方
スタイルブツクを見た丈で作れぬ方の爲めに型紙と縫方とを。



協會製作部

女兒用ブラウス

綿ジャガートで　二圓以上
本ネルで　三圓五拾錢以上
色色
御注文に應じて作ります



電動本位イージーおしめ

品別	大形(三四歳用)	小形(一二歳用)
純ゴム特製	一圓六拾錢	一圓四十錢
上製	一圓三十錢	一圓拾錢
別製ネル付	一圓	九拾錢
送料各十貳錢		

團體配當五分

ビクトリヤ月經帶

—衞生的で絕對安全な—

△一號品(純ゴム製丸かん入)　金六拾錢
△二號品(ネル腰衣付角鐶入)　金八拾錢
△三號品(ネル付二個掛換入)　金壹圓
送料　十二錢

團體配當五分

婦人用脫脂綿

—衞生的二重包裝—

大折 御定　三十五錢

大袋は使ひ切るまでに汚れます。協會は特に工場に交渉して、大袋の内容を更に四分し、それぞれパラフイン紙で密封しました。どうせ毎月御入用なものですから、御利用下さい。



女兒用ジャンパー

(上等サージ製)

一尺九寸　三圓九拾錢
二尺　三圓二拾錢
二尺一寸五寸　四圓七拾錢
二尺二寸五寸　五圓七拾錢

各地の動き

産業組合中央會

消費組合運動は婦人に働きかけねばならぬといふのが時代の要求となつた。中央會は率先してこの要求に應じ樣としてゐる。この夏は東京で婦人と消費經濟に就いての講習會を開いた。(奥、丸岡講師)次第に地方にも働きかけて行く事になるだらう。どうぞして全國的に婦人に働きかけて行かれる事をいのつてゐる。

神戸消費組合家庭會

神戸の消費組合は理事長である賀川豊彦氏にお逢ひすると何時もその度に家庭會の御自慢を聞かされる。いや御自慢ぢやなくて、全く此處は家庭會が中心になつて組合が動いてゐる。組合員の増加を初めとして、講演會講習會と常に休みない活動を續けてゐる積極的な家庭會の樣子を見きゝする毎に神戸の組合の發展を十分に期待する事が出來よう。色々學ぶべき點が多い。

西郊消費組合家庭會

常に目覺しく活躍してゐるが、殊に最近では、今年の暑さにもかゝわらず、夏季家庭大學を開催して一週間といふもの多くの會員が熱心に聽講出來た事は大變喜しい事だつた。本會の家庭改善は單なる臨時や、料理等の表面的な改良ではなくてその原則である所の家庭經濟にあるといふ所に重點を置いて、活動を續けてゐる。

長野、高嶺購買組合婦人會

雨の激しい寒い日にも拘らずこの會の發會準備會第一回が盛大に催された。(協會から奥氏參加)こゝの購買組合は組織を中心にした市公吏だけ、と制限されてゐるので勤め人の奥さんばかりの會といふことになる。一般婦人會としても購買組合婦人部としても、これは可なり大きな問題となるうと思ふが、然し、非常に理解の早いしつかり者の家庭婦人揃ひだから、智識階級婦人の組合運動は、こゝで急速に伸びてゆかうと思ふ。

上田、松尾購買組合家庭會

全國的にも産業組合模範部落とされてゐるこゝに早くから家庭會が生れてゐる。前がけで集る婦人會、といふ目標で組織により介つて、話をきいたり、組合の示範ひをしたり、中々實質的である。協會の者は代事般の都度こゝに寄つて勵まし合ひ、仕事の報告をし合ひ、わが國の婦人消費組合運動について打合せ合ふことを樂しみにしてゐる。

埼玉縣産業組合支會

消費組合埼玉支會では、將來の運動は婦人の參加と協力にまたねばならぬといふので、去年から全縣下の婦人の間に消費組合主婦の立場を大衆に勸めてゐられる。(協會から奥氏參加)

高知共働社

こゝの常務者岡本氏はまた消費組合運動者でもゐられる。この點協會の奥氏と共鳴で、從つて二人がタクヲを双べて高知縣の農村の奥まで入るとき反響は矢のやうである。高知はいゝ人を惠まれた。この人を中心にして農村消費組合運動が進捗してゐる。

余丁町小學校 母の會より

世の中に最大の力、愛の力卽ち母の愛程偉大なものはないであらふ。この愛の力を以て事にあたらば何事でも成し遂げ得ぬ事はなからふと考へられるけれども、實際にあたつて子女を立派に育て上ると云ふ事は實にむづかしい。そこでお互に援け合ひ合理的に時代に順應し、より効果あらしむべく同志相より作られたのが牛込區余丁町小學校の母の會である。

創立未だ日淺き爲何等目立ちたる仕事は出來ないが、母連打よりて應談の内に御互の經驗談又失敗談希望などとりぐに意義ある會合をしてきた。講演會に講習に、つねに母の教養と向上のため努力し、又活動寫眞の子供に及ぼす影響を考慮して時々教育的な活動寫眞會を開いて居る。なほ一方消費經濟に關する自覺と云ふ事に立脚して學用品は購買組合組織に依つて扱ひ度いと考へて居る。消費節約實行の折柄最も意義ある事ではないかと思ふてゐる。その目的の一端として最近にバザーを開く計畫中である。

市内の學校に於てもぼつぐ母の會が出來る樣であるがどうか學校からの御申付け的母の會でなく、自覺した母の手によつて成立した眞劍な母の會であつてほしく、互ひに提携し協力して偉大なる愛の力を最も意義あらしむべく力めてゆきたいものである。

(會員の一人)



告!

ニユースを送られよ

あなたの會ではどういふ方針で、どんな仕事を進めてゐられませうか。最近どんな集りをなさいましたか。いろぐのニユースを送つて下さい。互ひにはげまし合ひ教へあふ必要のために。

金澤善進婦人會

婦人の間に消費經濟と營養の知識を注ぎこんでゆくことと及び、消費經濟や節約の合理化に努める、ことを一貫した目的にしてこの婦人會が生れた。(協會から奥氏參加)幼稚園の母の會に加つて子供の育て方に熱心してゐられる婦人、女學校の同窓會の中での新進、その他意氣に燃え、溢れるやうな母性愛の把持者が中樞である。購買組合協同會ともゆるぐ聯絡をはかつてゆかうとのことである。

本誌は會員に無代配布

▼いよぐ會報を出すときまつてから二ケ月あまり準備にかゝつた。これで、のせたいと思ふ記事の大半を削つてしまつた。何しろこれだけ狹少な紙面に一ぱい盛らうといふんだからむかなはない。

▼これからも、協會は本誌を先導に立て、全國的にあつちこつちの仲間を聯ひ合せてゆく。さあ、手を出して下さい。私も出しました。しつかり握手しませう。女として母親として、無産者として――

▼會報についての最後の打合せ會を去る二十三日に塩江さん宅で開いた。塩江さんは理解の深いおばさんでありお母さんである。ずつと病臥中だつたものだから會合が自然にのびた。從つて本紙もおくれた。

▼丸岡さんはメーデーさんを抱いて協會の仕事に隨分熱心である。消費組合運動に於けるす私たちにとつて師であり兄である重鎭氏繼いて百六十日、わが協會もいはゞ氏の忘れがたみであつた。

▼平田さんは瓦斯料金値下げ運動にも、協會のみんなを代表してハリをしいぐ働きに出られた。日用品の取次ぎ事が氏の分擔であるだけに協會の扱ひ品は中味のいゝものに限るとそのＨメカの目である。

▼神さん、誠徳寺消費組合のために住宅の一部を提供して便宜をはかつてゐられる。地の塩のやうに黙々と働いてゐられるこの人の姿がわが協會の姿でもあれと思ふ。協會のマークはこゝから。

▼小島さん、こんないゝおばさんばかしになつたら、日本の國に婦人問題も兒童問題もなくなつてしまふだらう。小學校兒童用品の消費組合がぜひ必要だと思ひます、といつも熱心な實行家である。

▼上田さん、この頃はお許も忙しい樣だが神戸消費組合時代には嬢ちやんをおぶつて働かれたつていふぢやないの、と奥さんは自分の體驗をこゝへも強いやうとする。協會の講習會技術者養成所になつてゐる。

▼奥さん、協會の用事で何べん出かけたつて容易につかまへる事は出來ないほど、それほど忙しい奥氏である。やれ歸つたから今度こそと思ふと次の講演。全く目まぐるしい。だがそれは神經衰弱の私のいふ事で彼女自身は暢暢シャクぐ。(協會だより)

婦人運動 第七卷第八號附錄

印刷發行人 奥むめお
發行所 職業婦人社
(東京市外、ÿ本村町)